



寝取られ介護

隣の部屋では妻とアイツが...

ぴゅあらいと

基本CG15枚 本編257枚

ん、

お!!
お、

ちや
お、
...



ちや
お、

ちや
お、
...





ああ
気持ちいいよ
遥香
そのまま続けて…

んっ…
どう？

気持ちいい
…？

うん…♡

ちゅ
ふ

ちゅ
ふ

ちゅ
ふ



ここが
気持ちいいん
だよね...?

そう
上手だよ

はぁ

はぁ

えへへ♡



いっちゃんいそつなら
そのまま
出しちゃっても
いいからね？

ありがとう
あぁっ
でも……



すまない
遥香…
やっぱり
今日はもう…

ううん
気にしないで
私の方こそ
ごめんね…

私が下手くそ
だから…

そんな
事ないよ…



それじゃあ
おやすみ



……
愛してるよ
遥香

うん♡
私も愛してるわ
あなた♡

ちゅっ♡

いってらっしゃい
あなた
今日もお仕事
頑張っ
てね！

ああ
いってきます

俺の名前は
立花孝介
どこにでもいる
平凡なサラリーマンだ



結婚3年目になる
妻の遥香との間に
子供はいない

結婚当初は仕事が
忙しかった事もあり
子供の事をズルズルと
先延ばしにし

ここ最近では
妻との夜の関係も
すっかり無くなって
しまっていた



妻の事は愛している
だが結婚当初のような
ドキドキした感情は
薄れ切ってしまった
いるのもまた事実だった

それを証明するかのように
身が入らなくなるセックスに

「これでいいのだろうか？」
「夫婦というのはこういうものなのだろうか？」
なんていう疑問を僅かながら抱きつつも
俺は平平たる日常を送っていた



だが
そんな俺の日常は
とある出来事をきっかけに
大きく崩れ去る事になる…





その日、家路に着く俺は
突然道に飛び出してきた男を
車で轢いてしまった

軽い接触であったが
その日は上司の誘いを断り切れず
僅かながら酒を飲んでいた

焦った俺はそのまま
その場を離れてしまったのだ

おかえりなさい
あなた

？

どうしたの？
そんなに血相を
変えて…

じっ…
実は…

大変じゃない！
どうしよう…
とにかく直ぐに戻って…

その必要は
ないですよ

!?

貴方は…？

隣の部屋に住んでる
木本って者ですがね…
たった今その男に
ひき逃げされた
被害者でもあります

間違いない…
その男の背格好には
見覚えがあった



なんて事！
あっあの
お怪我は大丈夫
ですか…!?

大丈夫なわけ
ないでしょう!!
今から病院へ
行くところですよ!

それよりお前
酒を飲んでるな…?
飲酒運転で
ひき逃げとは…

覚えてろよ
必ず警察に
突き出してやる…!!



なっ何と謝罪したいいか…
とにかく病院へ…
タクシーを呼びますので
私も付き添わせてください

ふん！
ひき逃げ犯なんかに
付き添われたくなんか
ないねっ！！

あのっ
でしたら私
だけでも…





「……いいでしょう、それじゃあ奥さんにご一緒してもらいます」
そう言って木本は妻とその場を後にした。

「はあ……大変な事になってしまった……
………それにしてもあの木本という男の
さっきの眼………」

混乱した状況の中
俺はそれとは別に何か妙な胸騒ぎを
感じていた……



数日後
俺は不安な気持ちで
部屋を歩き回っていた

はあ…
それにしても
大丈夫だろうか…



あの後、木本は一転して
この件に条件付きでの示談を
持ち掛けてきた

しかし
その条件というのが…

あの事故で
利き腕を怪我しましてねえ

怪我で支障をきたした
日常生活の手助けを
あなたの
奥様をお願いしたい

という
ものだったのだ



こんな事を
頼んでしまつて
本当にいいのかい？

ええ、幸い木本さんは
お隣同士だし

こっちのせいで
不自由させてしまつて
いるんですもの

出来る事は
させてもらわなきゃ



なんて言っではいたものの
本当に大丈夫だろうか…
生活の手伝いだの言っていたが
男と女が同室で二人っきりなんて…

いや…
俺の考えすぎか…

部屋の掃除でもしていよう
遥香に面倒を
かけてしまったんだ
家事くらい俺がやらないと…





それは部屋の写真立てが
微かに揺れる音だった



地震...?
いや違う...
何だ...?
何の音だ...!?

!!

カ
タ
...

カ
タ

カ
タ
...

隣の部屋からだ…

カ
ク

ド
ク
ン

カ
ク

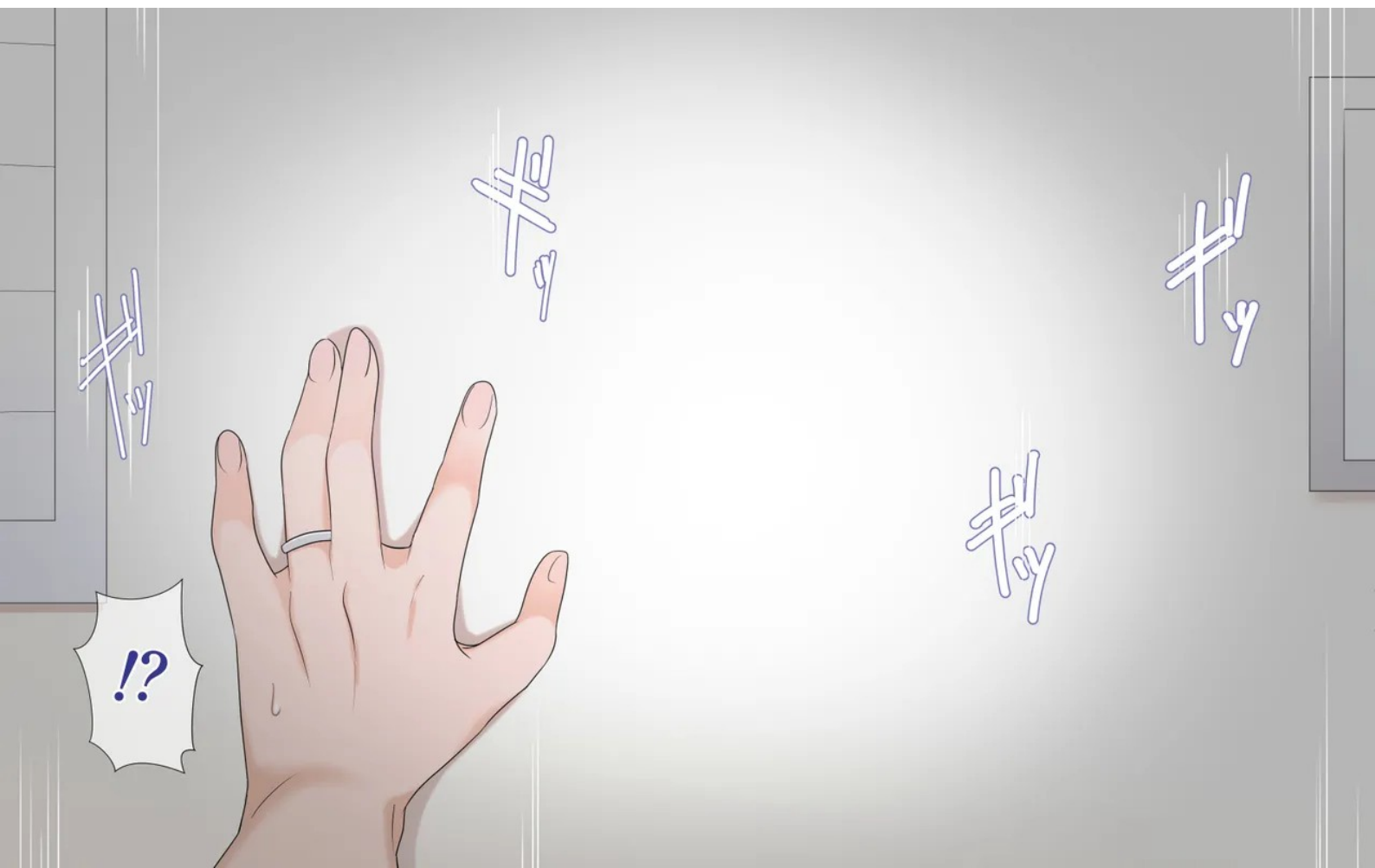
ドクン、と
胸の奥にしまい込んでいた
不安が疼くのを感じた

ド
ク
ン

ハア…ハア…
そんなまさか…

恐る恐る
俺は部屋の壁に
耳を近づける

ド
ク
ン



それは隣室の
木本の部屋から僅かに
聞こえてくる
軋むような音

この音は……！
まさかっ……！！

俺の頭の中を
最悪な想像がよぎる

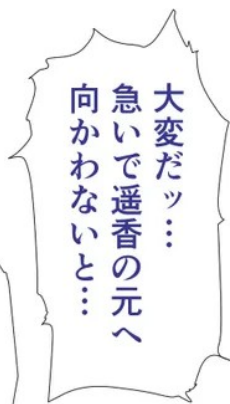
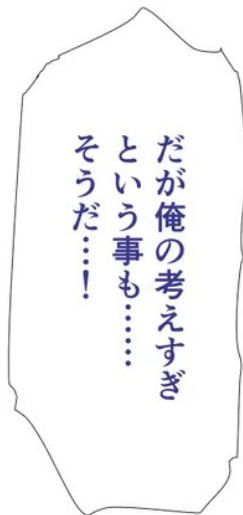
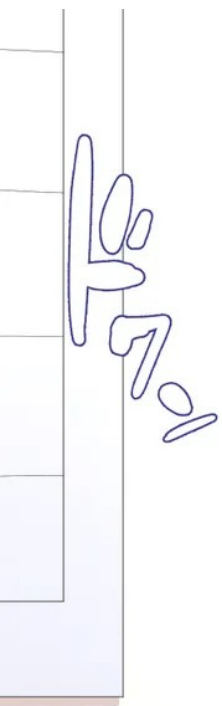
キッ

キッ

キッ

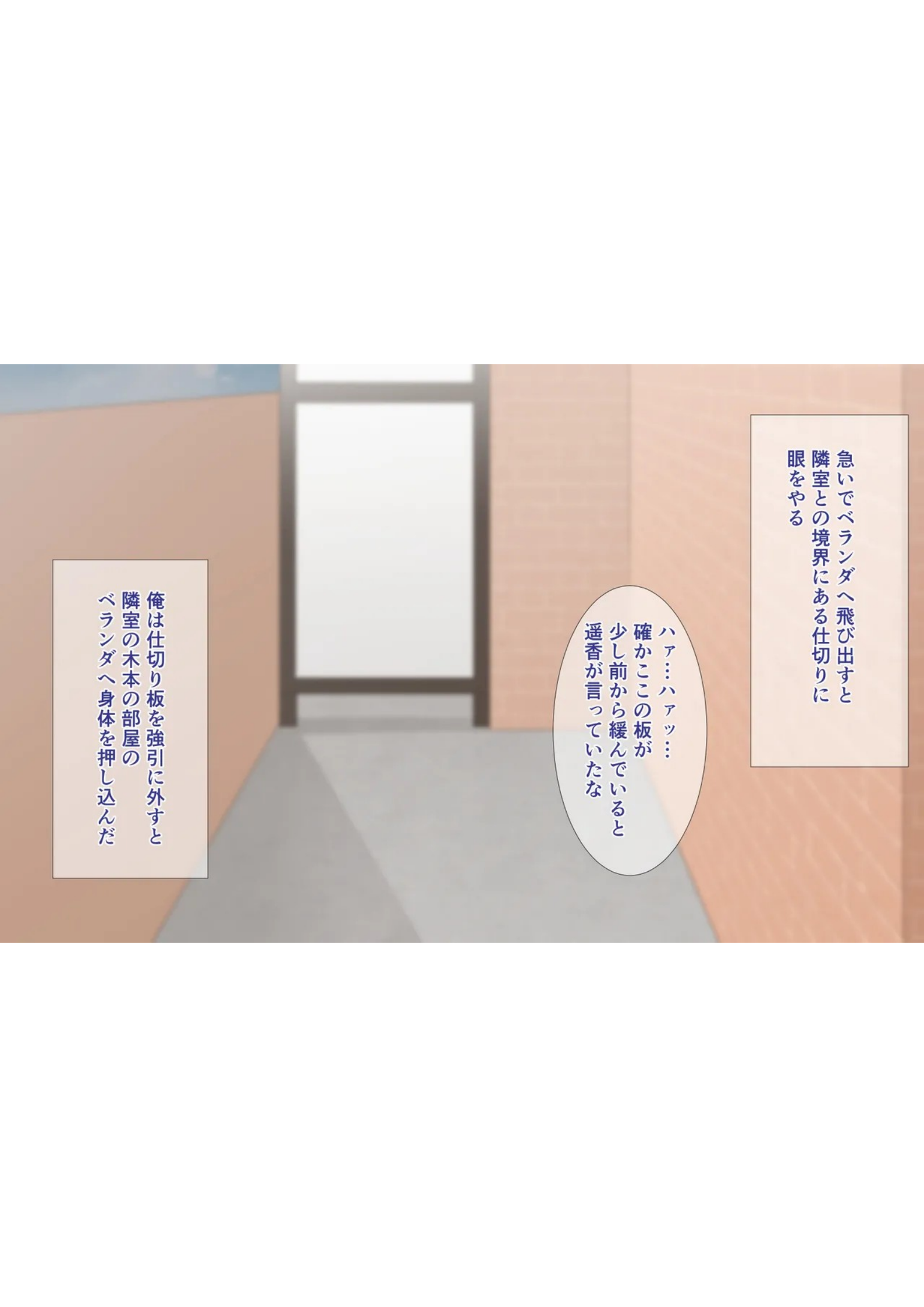
キッ





だが俺の考えすぎ
という事も……
そうだ……!

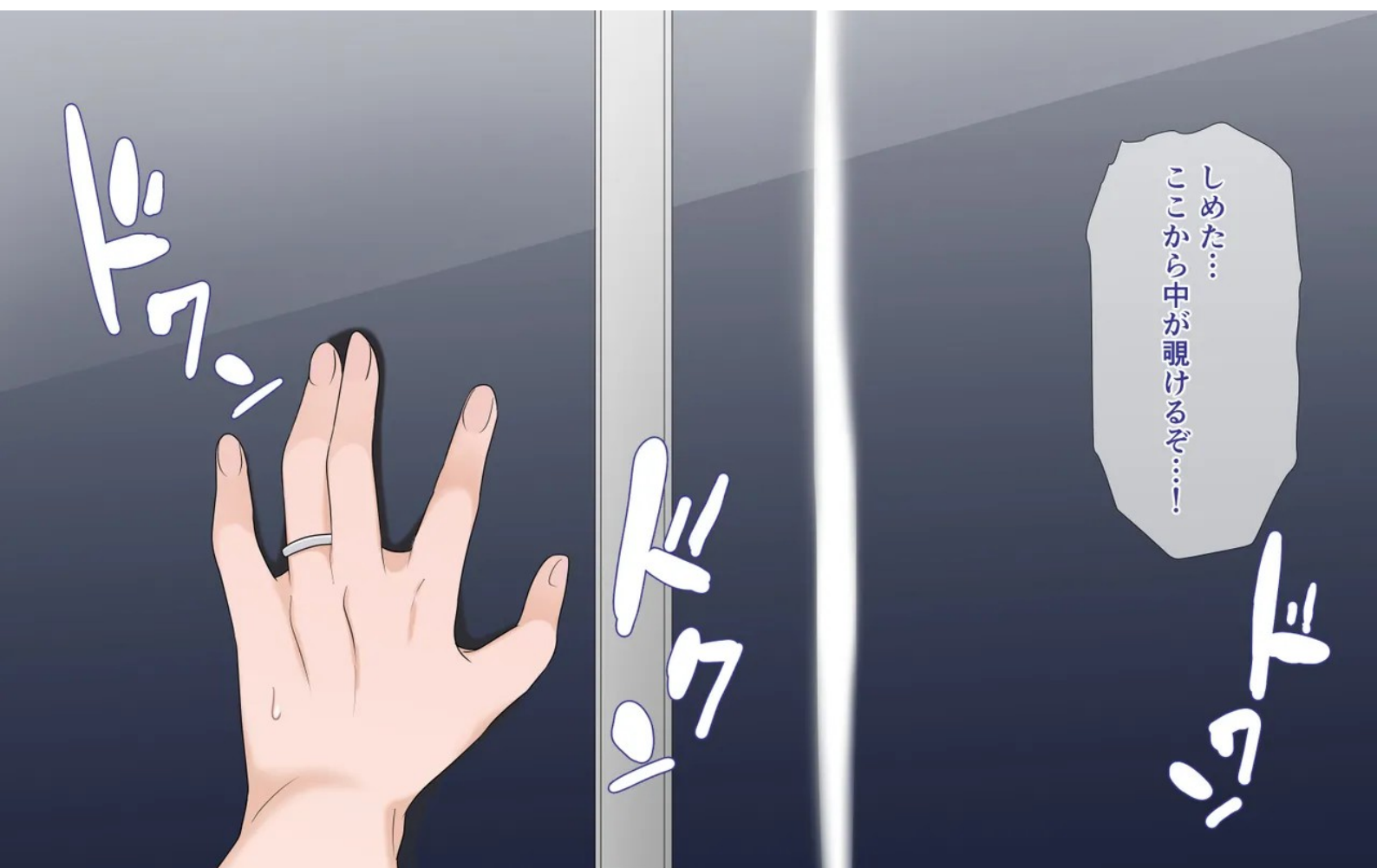
大変だッ……
急いで遥香の元へ
向かわないと……



急いでベランダへ飛び出すと
隣室との境界にある仕切りに
眼をやる

ハア…ハアツ…
確かこの板が
少し前から緩んでいると
遥香が言っていたな

俺は仕切り板を強引に外すと
隣室の木本の部屋の
ベランダへ身体を押し込んだ



ふと、乾いた笑いが込み上げた

「何をしているんだ俺は…」

こんな事きつと俺の勘違いだろう
遥香が帰ってきたら笑い話にしておもう…

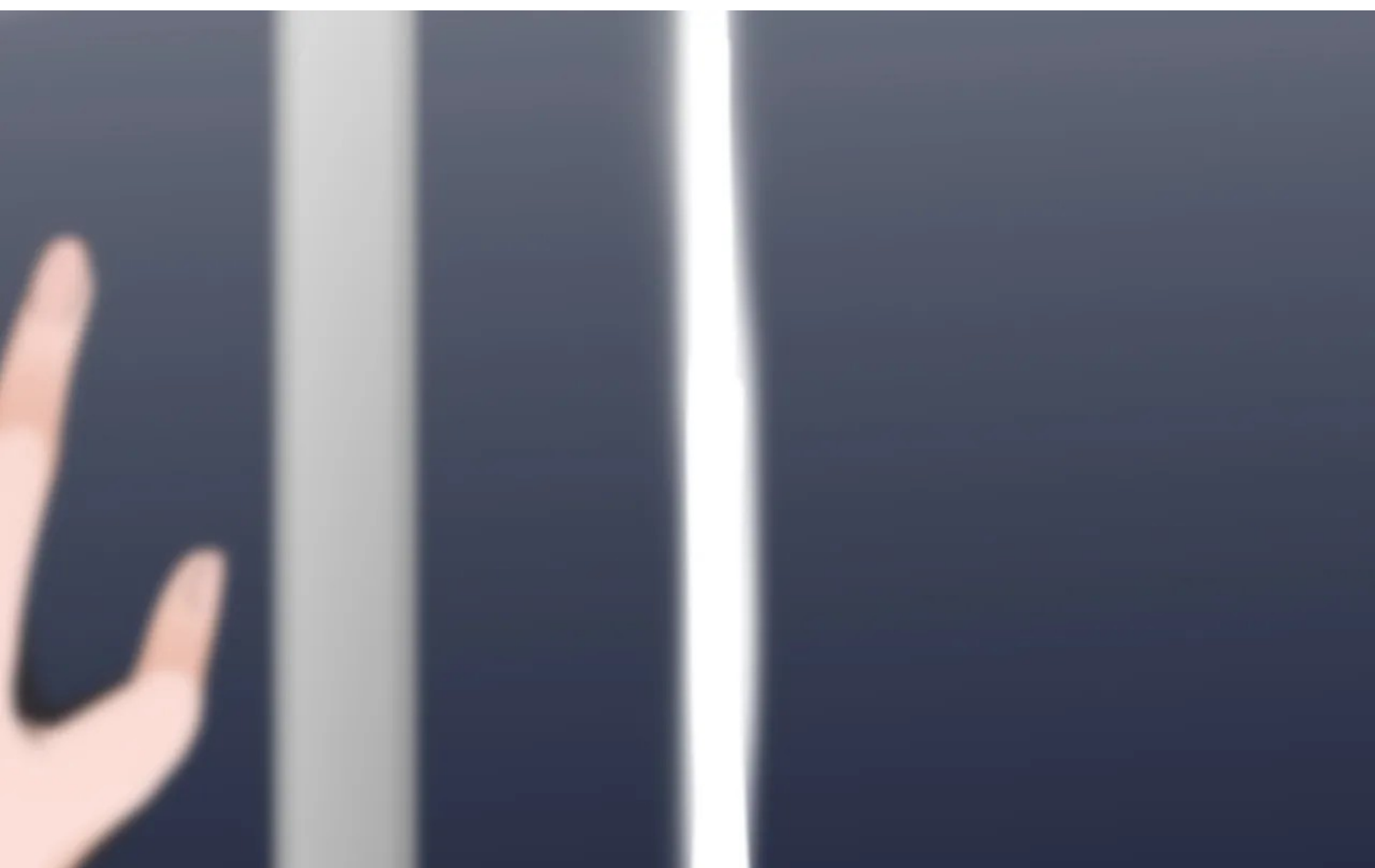
妙な程高鳴る胸の鼓動を無視するように
自分にそう言い聞かせると

俺はゆっくと部屋の中を覗き込んだ

ドク
ドク
ドク

ドク
ドク
ドク

ドク
ドク
ドク





そこには
一塊になる
木本と遥香の姿があった

そのあまりの光景に
俺はその場に凍り付いた

オホッw

オホッw

ズザッ

ズザッ





ヌレヌレ
人妻おまんこ
最高に気持ちいい
ですよ遥香さん!!

ぶほほっ!
最高!!

ハアッ!
ハアッ!

はっ

はっ



ブヒヒw
夢みたいだなあ！

はっ

はっ

隣に越してきてから
ずっとズリネタに
してきた遥香さんと
セックス出来るなんて！



ふはあ〜♡
ああ〜遥香さん
いい匂い♡
なんてスケベな
メスの香りなんだ

盗んだ遥香さんの下着を
嗅いでオナニーしすぎて
廊下ですれ違うだけで
勃起するようになった
遥香さんの匂いだあ♡

やっ…
やめてください…

はあ

すー

どり

どり



やめてくださいいじゃないでしょ！
遥香さんがオーケーしたんじゃない

僕の世話をしてくれる代わりに警察沙汰にはしないって

それとも
旦那を前科者にしたいのかなあ??

あっ

あっ



おっおっ
ヤベェっ！
マジおまんこ
気持ち良すぎて
チンポ溶けそう!!

あんっ
やっ！

あんッ

あっ

アハ

アハ



いっ
イクよッ...!!

遥香さんの
スケベな人妻まんこで
搾り取られて
ザー汁どびゅどびゅ
しちゃうよッッ!!

あっ

あっ

ぬふ!

ぬふ!

遥香さあんッ!!
遥香さあんッッ!!



おッッ...!!

ほおおおッッッ
...!!
!!
!!

あぁあぁんッ!!



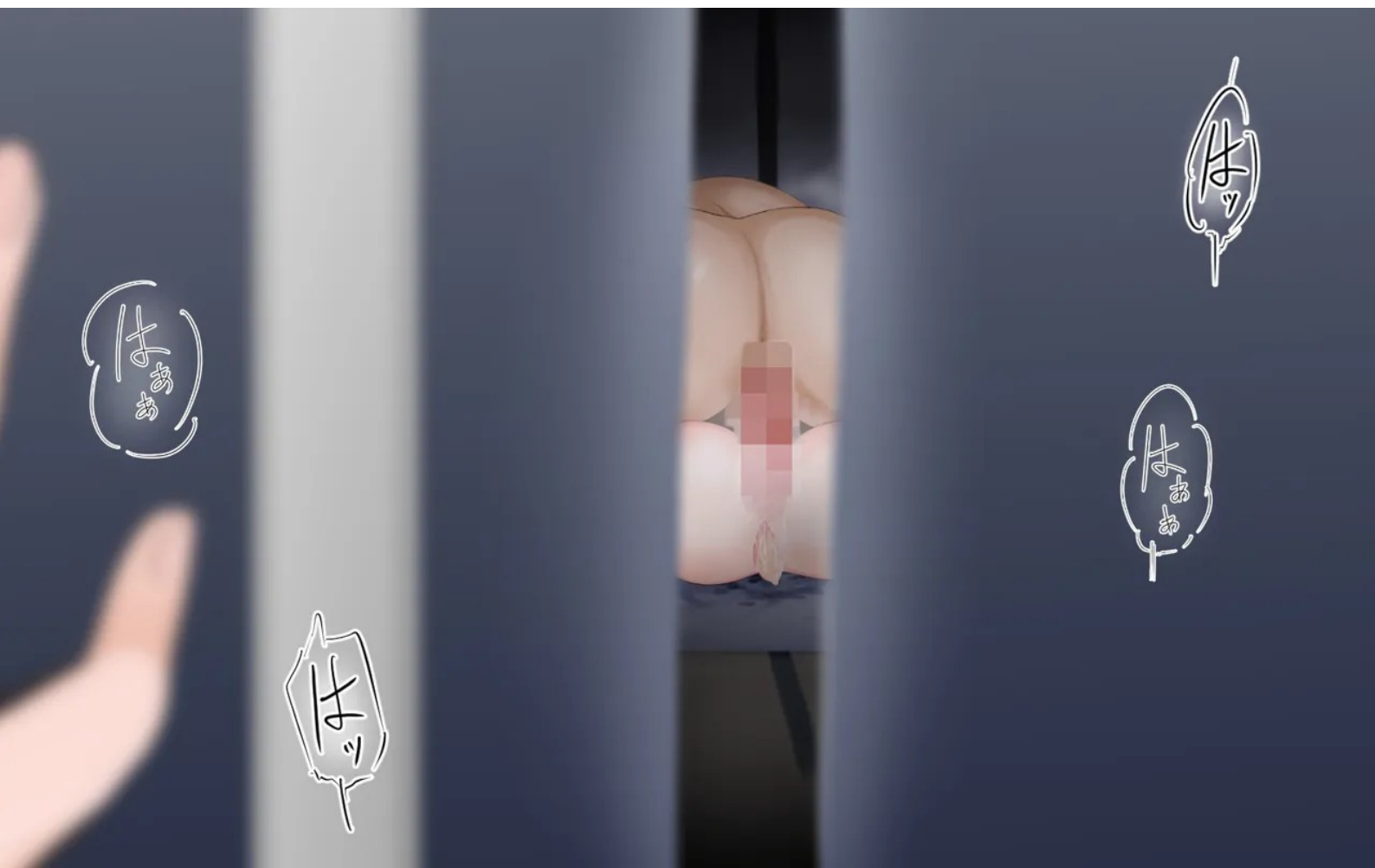


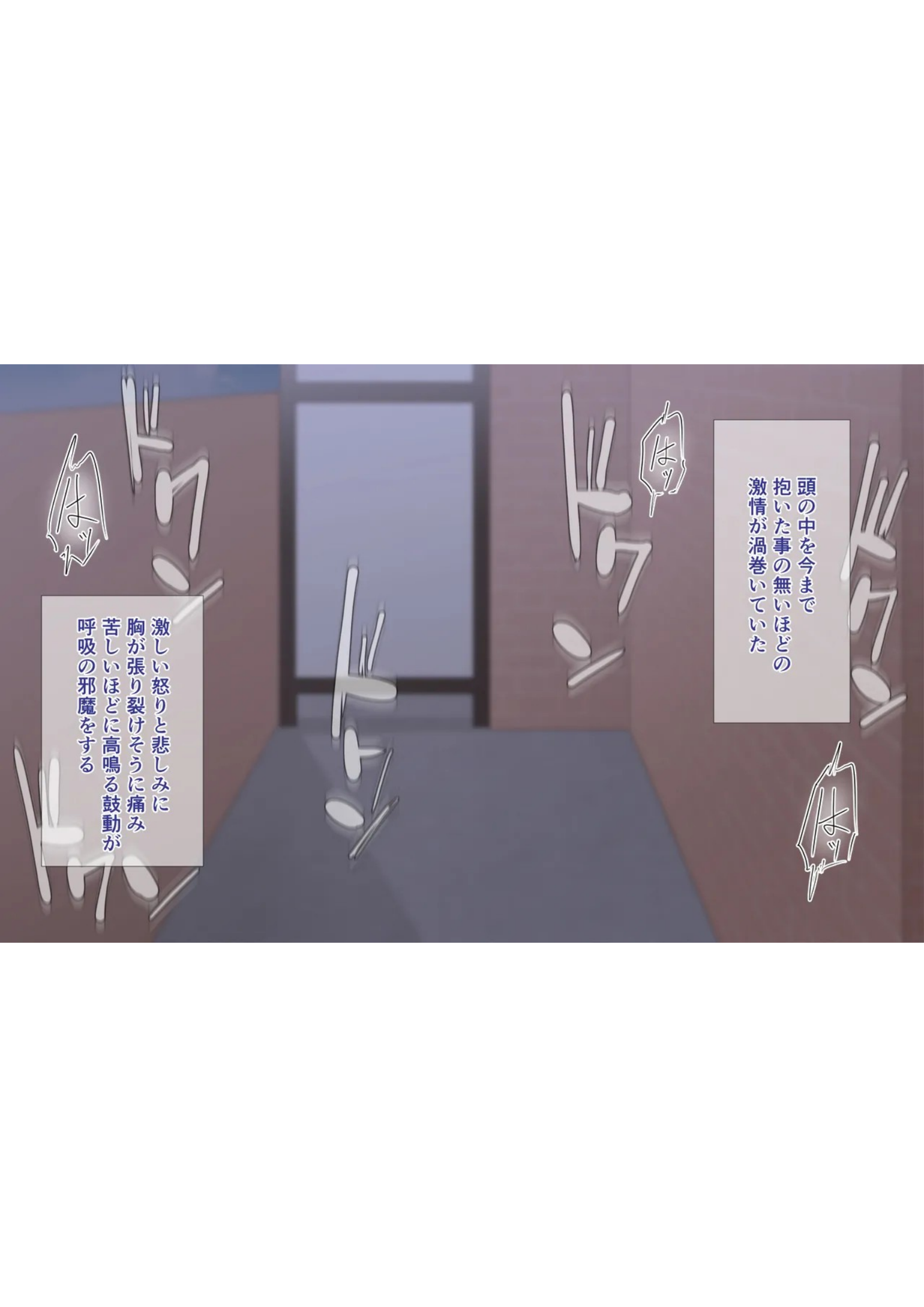
ハアアア...

ハアア...









頭の中を今まで
抱いた事の無いほどの
激情が渦巻いていた

激しい怒りと悲しみに
胸が張り裂けそうに痛み
苦しいほどに高鳴る鼓動が
呼吸の邪魔をする



遥香っ…
遥香っ…遥香…!!





はっ
遥香ツツ…!!

ただいま

あら…
どうしたの
あな…

か
は

どうしたの…？
私がいなくて
寂しくなっちゃった？

どうしたのって…
お前…大丈夫なのか…？

何も…なかったか？
あいつの部屋で

……

うん
大丈夫

何も
なかったよ

ギュ

ウ

そう言って
俺を抱きしめ返した
妻の身体からは

嗅ぎなれた
妻の甘い香りと

妻からは香った事のない
知らない男の匂いがした

胸の中に
渦巻いていた
激しい怒りと
悲しみと嫉妬

苦しいほどに
湧き上がる
妻への愛情

きやつ！

そして

これまでに
抱いた事の無い程の
劣情が
堰を切ったかのように
溢れ出した

かばっ





ハアッ…
なんてエロい
身体をしているんだ

俺の妻は
こんなにも
淫靡な身体を
していたのか

この身体をッ…!!
俺の妻をあいつはッ…!!
ぐっ……………!!





ついさっきまで他の男のものを
挿入されていた
妻のあそこが愛液を
滴らせながらしっかりと俺の
ペニスを咥え込む

俺は脳裏に焼き付いた
先刻の光景を
かき消すかのように
膨張したペニスを
妻の中に叩きつけた





煮えたぎる怒りや悲しみと
込み上げる
妻への愛情と劣情が
俺の体の中で
ぐちゃぐちゃに混ざり合う

脳が霞む様な昂りに
俺の全身は支配されていた





遥香ッ…!
遥香ッ…!

何で俺は
遥香をあいつの
部屋なんかに行か
せてしまったんだ

あの時俺が
遥香を止めていれば
あんな事にはつ…

だめ

あ

あんなつ…

……うたてな……









もう…
どうしちゃったの
あなた…

ちよつと家を
空けただけで…
そんなにやきもち
焼いちゃった？

は、

は、

意識が飛びそう
な程の絶頂を迎え
次第に冷静さを
取り戻す俺の脳裏に

認めざるを得ない
ある感情が
浮かび上がった



あの時

醜悪な隣人に犯される
妻の姿を目の当たりにして
強い怒りと嫉妬に打ち震えながら

俺は
興奮していたのだ

それも激しく
言葉では
言い表せない程に

はあ

はッ

もう一度
もう一度だけ
あの興奮を味わって
みたい…

俺の心に
悪魔の声が
囁いた

はっ
遥香……

……
?



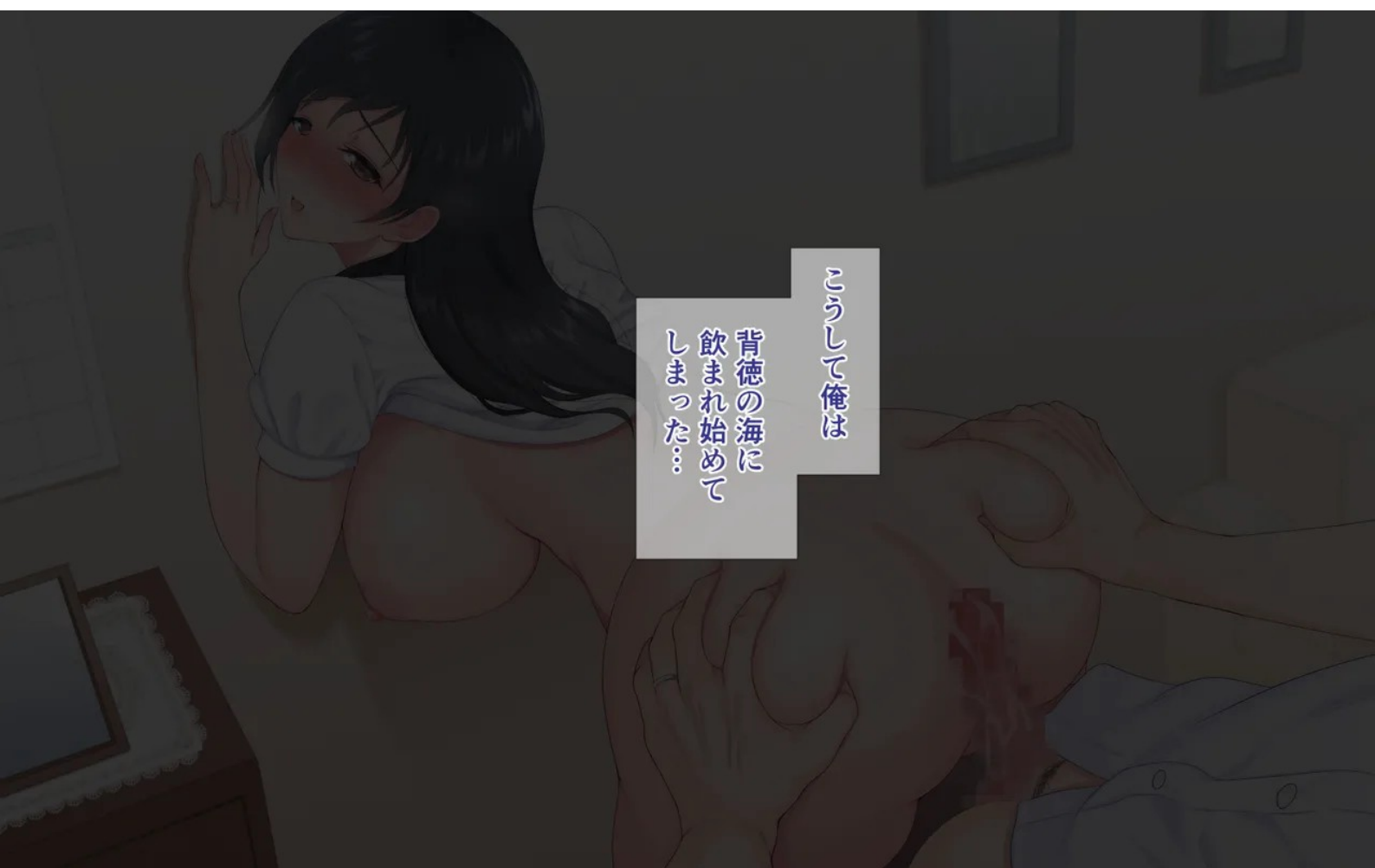


………今日から…
うちの家事は
全部俺に任せてくれ

ごめんな…
面倒をかけて
しまつて…

あなた…





こうして俺は

背徳の海に
飲まれ始めて
しまった：

次の日から
毎日妻を隣室へ送り出すと
部屋を抜け出し
妻と木本の行為を覗き見る事が
俺の日課となった

それは想像を絶するほどの苦痛と
得も言えぬ興奮を同時に味わう
背徳の日々だった……



ほら遥香さん…
今日も手が痛くて
満足にオナニーも
出来なくて大変なんだ

遥香さんの
可愛いお口まんこで
僕のザーメンしっかり
搾り取るんだよ♡

くっ…
口で…ですか…？



なに？嫌なの？
誰のせいで
こんな事になったと
思ってるの？

嫌なら
やめても
いいんだよ？

すっ…
すみません…

わかったのなら
早くしろ!!

もうちんぽ
ギンギンで
たまらないんだよ!!











人妻くちまんこ
気持ちいいよ
遥香さんっ!!

うほおッ...!
口の中あったけえ...

ちゅっ

ん

めろ

めろ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ





ハアッハアッ
ほらっ玉も
しっかり舐めて

グ
イ
ッ

モ
ワ
マ

あっ…
えっ…?

ほらっ
早くっ!!



ハアッ
ハアッ

ざらついた舌の表面が
敏感な所を
刺激してめちやくちや
気持ちいいっ…!

(は)

ぴちゃ

ネロ
ネロ

ぴちゃ

(は)

ほらっ…
そのまま裏筋まで
舐め上げてっ…!

んっ…





先

(は)

(は)

ぬるる

ウホッ……!!

オッほおお……!!

裏筋きもちっつ……

びく、



ハアッ
ハアッ

もうチンポ
たまんねえっ！

ん

ん

そろそろ
イかせて
遥香さんッ！

ちゃぷ

ちゃぷ

ちゃぷ

ちゃぷ



ほらっ!!
いつまでそんな
かまとぶった
フェラしてるんだっ!

んっ...
んえ...?

もっとスケベなまんこ顔
晒していやらしく
しゃぶんないと
いつまでたっても
ザーメン飲ませて
あげられないよっ!!

んぐっ...
んっ...!

ちゃぶっ

ちゃぶっ
ちゃぶっ
ちゃぶっ



そうそう
良い顔に
なってきたね

もっと自分が
くちまんこ
だって事を自覚して
僕のちんぽしゃぶり
とるんだッ!!

んっ

んっ

ふ

んっ

んぶっ

んっ

んっ

んっ

んっ



オッ……!!
ヤベッ気持ちツッ!!

ハアッハアッ!!
そろそろイクよツ……!!

んぶっ

んっ

んぶっ

んぶっ

遥香のくちまんこに
ザーメン
中出しするぞっ!!

ぐっ……!
イクッ……!

イクッ……イクッ
イクくううツツ……!!









ブヒヒッw
ごっくんは
出来なかったかな？

まあ気持ち良かった
から許してあげる♡
次は頑張ろうね♡

ゴホッ...!!
ゴホッ...!!

おっ...!!
おっ...!!

ホッ...!!
ホッ...!!









はああ
気持ち良かったあ

終わり
ましたか？

それじゃあ
私はこれで失礼
しますね…

そんな冷たい
事言わないで

もう少し
イチャイチャ
しようよお♡

やめて
くださいっ…
私もう帰らなきゃ

はああ
遥香さんの
頭皮いい匂い♡

はぁ…

モミ♡





ブヒヒw
イチャイチャ
してたらまた
チンポ立って
きちゃった♡

もう一回
はめはめして
あげるね
遥香さん♡

ちょっと！
やめてくださいっ！！

今日はもう
二回も出した
じゃないですかっ！

びん

びん

ブヒヒw





ふうつふうつ
遥香さんが
悪いんだろ!!

こんなムチムチな
エッチな身体して!
二回くらいじゃ
出したりないよっ!

木本さん
やめてくださいっ
こんなのひどいですっ!!



ハアッハアッ
気持ちいいッ!!

ムチムチ
人妻肉オナホ
最高っ!!

んっあっあっ

そんなに
激しくしないでっ
くださいっ!!



遥香ア

ッ!!

遥香好きいい

ッ!!!

や

あ

あ

あ

あ

フウ

ッッ!!

フウ

ッッ!!





フウ~~~~ッ
フウ~~~~ッ

遥香まんこ
気持ち良すぎて……
三回目なのに
こんなに出ちやった……♡

はあっ……
はあっ……

ううう……

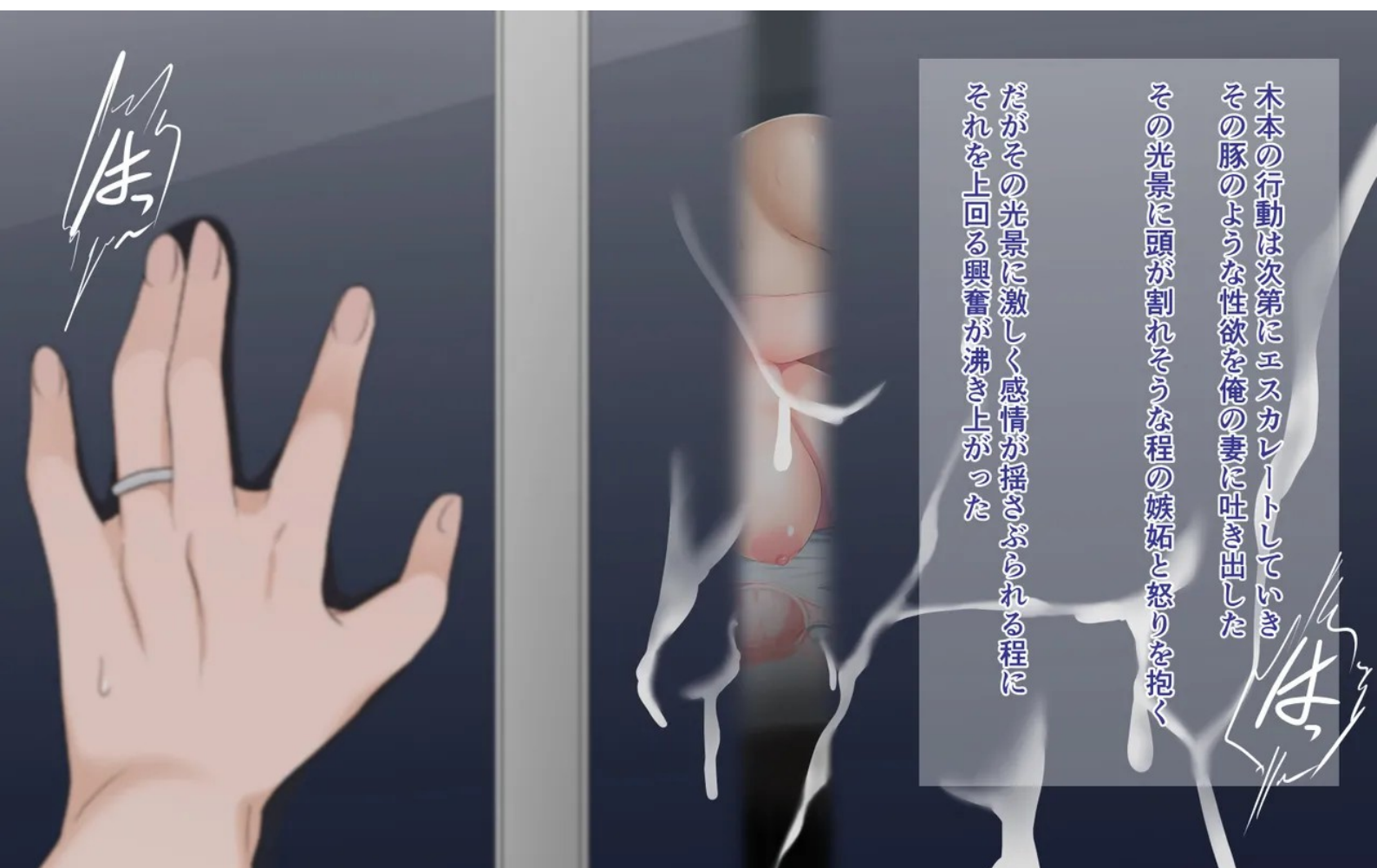
やほ



木本の行動は次第にエスカレートしていき
その豚のような性欲を俺の妻に吐き出した

その光景に頭が割れそうな程の嫉妬と怒りを抱く

だがその光景に激しく感情が揺さぶられる程に
それを上回る興奮が沸き上がった



何度もその場に飛び出し止めようと思った
だがこの異様な背徳感に抗う事ができず
俺はただ快楽に身を任せ精液を吐き出した

そうしている内に
やがて妻の方に
変化が訪れ始めた……

は

は





いや...
私こんなの
恥ずかしいです...

いいからいいから
いつもご奉仕してくれる
遥香さんのために
今日は僕がいっぱい
気持ちよくしてあげる

ほら
ちゃんと
股開いて



相変わらずピンク色で
綺麗なドスケベまんこ♡



ハァ〜♡いい匂い♡

人妻まんこからメスの匂い
ムンムン出してますよ遥香さん♡

いやっ…
やめて
ください…

すっ

はぁ

むはぁーッ
ッ…たまんねえ…ッッ





じゅぶつ
じゅぶつ
ちゅぱつ

ハアッおまんこ
気持ちいいですか？
僕がいっぱいナメナメ
してあげますから

気持ち良かったら
声出していいんですよ？

ベロベロ
いいよ

んっ…
気持ちよくなんて
ないですっ…
んっ…！



んっ…
もういいでしょ…？

私の事はいいですから
するのなら早く
終わらせてくださいっ…

そんな強がり
言わないで
ほらほら♡

じゅぷっし□
ちゅぶっちゅぶっ

もうっ…
やめてくださ…

が
が
が





あれえー？
どうしたんですか
遥香さん？

もしかして
クリが性感帯
なんですか？

ちっ違いますっ！
いっ…今のは
ちよつと……

そんな事
言いながら
クリ勃起して
ませんかあ？

してませんっ



やめてっ
あんっ
ああんっ！

どれどれ
本当かなあ？

いやあっ
はっあんっ！









あれえ？いつちゃった
んですか遥香さん？

おまんこぐちゅぐちゅ
されて気持ちよく
なっちゃったんですかあ？

いやっ
違っ…







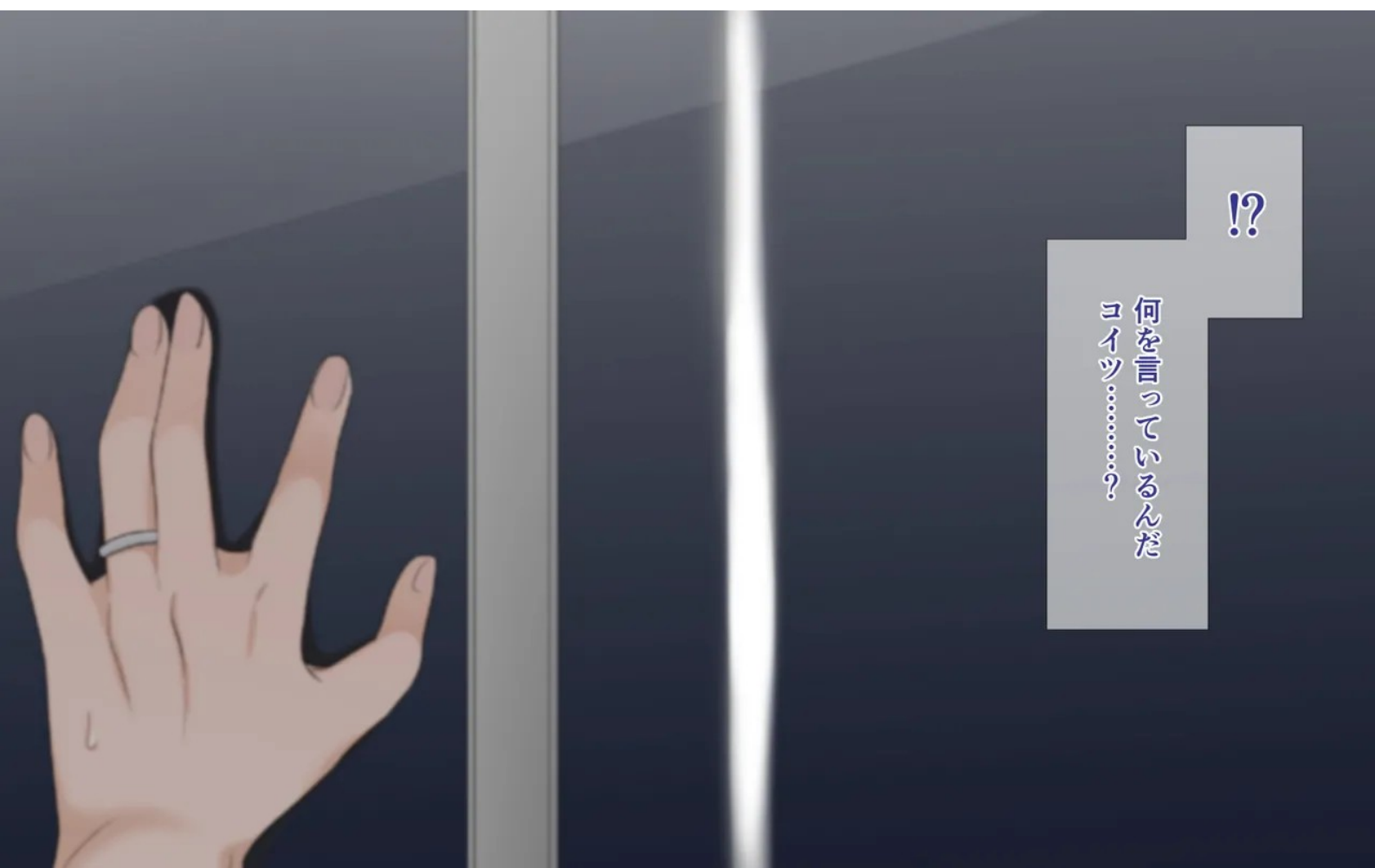
いいんですよ
遥香さんだって
気持ち良くなっても…

わかってますよ…

本当は
たまってるん
ですよね？

なっ…！
そんな事…！！

ゲッ
ゲッ
ゲッ



!?

何を言っているんだ
コイツ………?

隣の部屋にあなた方夫婦が越してきて：最初は毎晩お盛んな声が聞こえていたのに

ここ数年はめっきりそれもなくなった

本当はまだまだやりたい盛りなのに…

ずっとひとりで欲求を募らせていたんでしょう？

そんな事っありませんっ……！！





元はと言えば
旦那さんのせいで
こんな事をさせられて
いるんだ…

いいんですよ
遥香さんだって
楽しんで

何を言っているんだ
コイツは……！
俺の妻はそんな淫乱な
女じゃないっ………！！



何も僕の事を
恋人みたいに
好きになれなんて
言いません

溜まった性欲を
処理する道具だと
思ってくれば
いいんです

どうせ
入れるんですよ…

それなら
早くしてっ…

わかりました
じゃあちゃんとお願い
してください

えっ…？

本当はもう
まんこがうずいて
チンポ入れて欲しくて
仕方がないんでしょう？

なっ…!!

「チンポ入れてください」
ってお願いしないと
入れてあげませんよ？

ほら…あんまり
たらたらしてると
旦那さんに
怪しまれちゃいますよ？





.....入れて.....くださいっ.....

.....

遥香………？

木本さんのっ…

私の中に…入れて
くださいっ………！

ドキ

ドキ

きん
きん

グフフッ！
よく言えましたね！

いいでしょう
ご褒美に遥香さんのおまんこ
たっぷりかき回してあげますよっ！！

遥香……お前何言って……

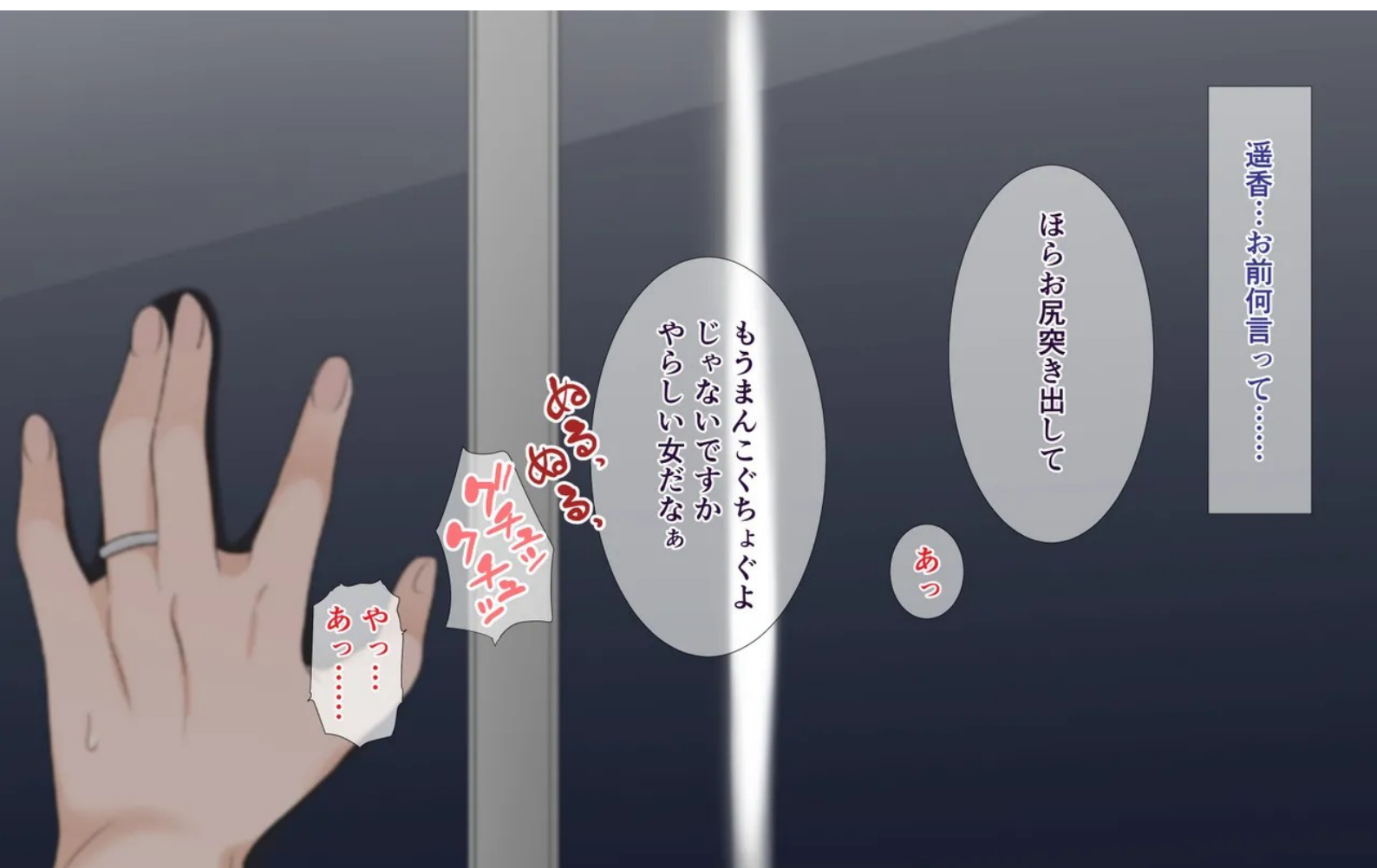
ほらお尻突き出して

あつ

もうまんこぐちよぐよ
じゃないですか
やらしい女だなあ

ゲキ
キョウ
シ

あつ
やつ







ぐっ…熱いっ…!
まんこの中ドロドロに
なってるよ遥香さんッ

こんなにくちよぐちよに
チンポ啜え込んで
よっほどこれが欲しかったんだね

いやっあっ
違っ…!!

こんなスケベな音出して
男のチンポ啜え込んで
違うじゃないでしょう!!

本当は最初から感じてたんだろ!?
旦那よりデカイチンポで
貪るみたいに犯されて

内心興奮してたんだろ
この変態女め!!

あつあつ
違いますっ…
そんないじわる
言わないでっ…!!





ほら言ってみろ!!
旦那のチンポと
どっちが大きいんだ!?

あつあつ...!!
木本さんの方がっ...あつ
大きいですっ...!!

あつ!あつ!だめっ...!
そんなに突いたらっあつだめっ!!



イクそうか!?

イク時はちゃんと「イクます」って言うってからイクんだぞっ!!

あっ!! あっ!! あっだめっ...!!

イクっ... イキますッ...!!

イクっ!!

イクっ!!

イクっ!!

イクますっ

イクますっ...!!

いつ... あああッ

あ

イクっ!!



ブフフツ!!
随分いい声を出すようになってきたじゃないですか

でもまだだ…
これから僕が
もっとスケベなメスに
調教してあげるから
楽しみにしていて
くださいねwwww

[illegible]

遥香……
遥香……遥香ッ………!!

遥香...
遥香...
遥香ッ...!!

そう…
いっぱい涎出して
音をたてながら
しゃぶって…



それから妻は
次第に変わり始めた



あっあっ
あっ...!
凄っ...
おおきっ...!!

木本との行為に
感じている素振りを
見せ始め

エスカレートする
木本の要求にも
恥じらいながらも
素直に応じる

俺の背徳的な興奮は
次第に焦燥や不安に変わり

それは目を増すごとに
膨れ上がっていった



待て…
待ってくれ…



遥香…
遥香ッ…
!!

遥香……俺の…
俺の妻だ………！

どんなに身体を
弄ばれようと
心だけは俺の………！！

…それでね
木本さんは野菜が
苦手みたいだから
次に作ってあげる
料理は…





やめてくれよっ…
家にいても
アイツの話ばかりっ…!

ッ…!!

グ
イッ

キャッ!

俺は強引に
妻の手を引き寄せた

ハアッ...!
ハアッ...!
ハアッ...!

最近してなかっただろ...?
なんだかムラムラしちゃってさ...
な...いいだろっ...?...

遥香...
遥香...!!
俺の妻だ...

胸が熱いっ...
妻を...妻を抱きたいっ...!
この柔らかな身体を
思うままに...:~:~:~:



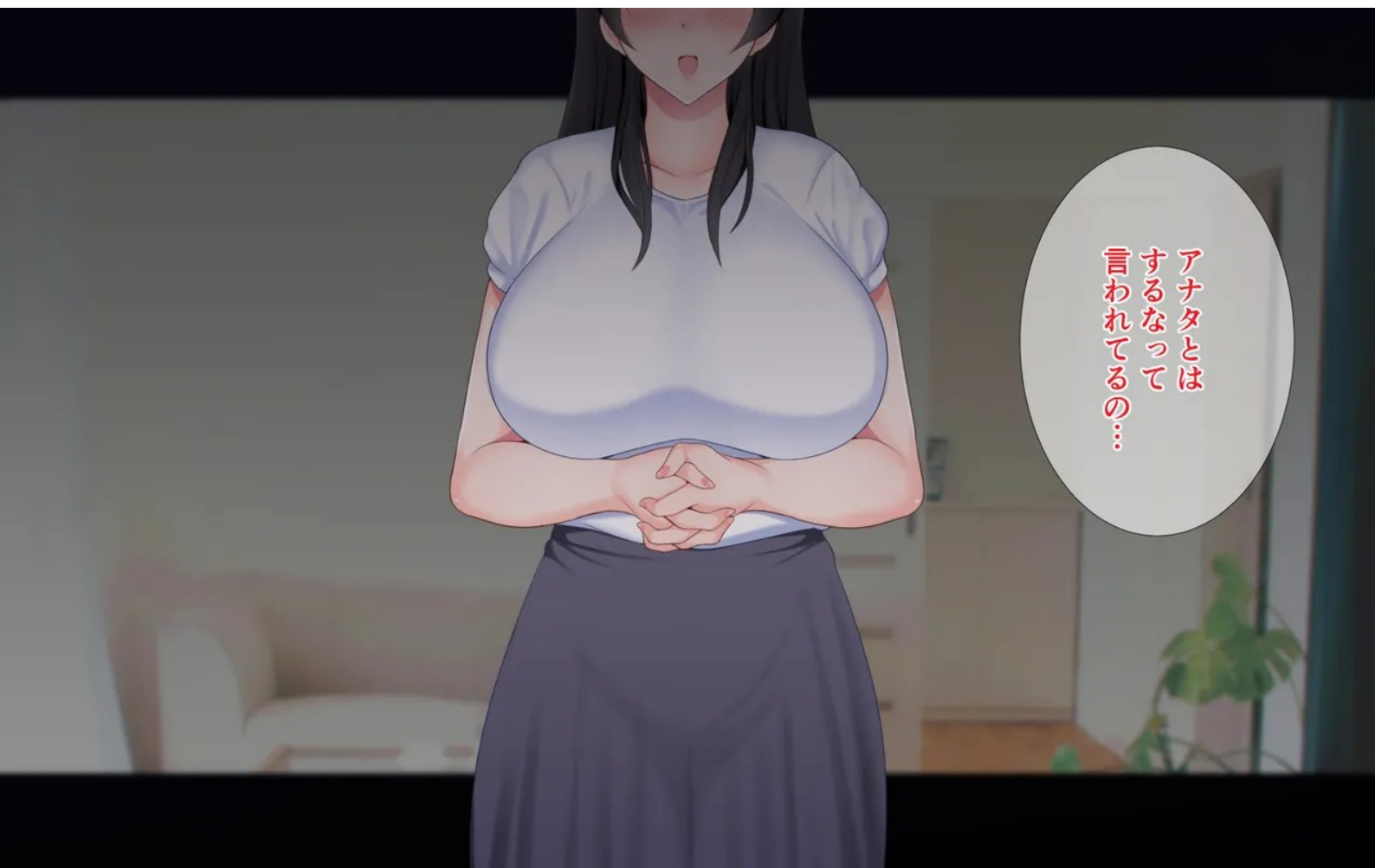
やめてっ……！

!!
ッ

ッ……!!?

どうしてだよっ……
俺達夫婦だろっ……!!?

……………ごめんなさい



アナタとは
するなって
言われてるの…

.....えっ？

あっ...！
ごめんなさいっ！
じゃなくてっ...
今日はもう
疲れてるから

私先に休むね！
おやすみなさいっ！

ボタン



『ナイチンゲール症候群』というものの話を聞いたことがある



看護をする者が看護相手に対して恋愛的感情を抱いてしまう現象の事を言うらしい

優しく献身的な性格の妻が
ろくでもない隣人に対して
母性にも似た感情を刺激されたのか

夫よりも若く旺盛な性欲に
女としての悦びを感じてし
まったのか
それは定かではない



だが俺の知らない内に
妻の心は俺の手の届かない
遠くへ行ってしまったような気がした…





木本さん…
私やっぱり…

できませんっ

んっ…
やめてくださいっ
こんな所でっ…!

ぐっ

ぐ

ぐ

そんな事言いながら
遥香さんのここ
いつもよりぐちょぐちょ
になってますよ…

グフフツ
本当は興奮
してるんですよ？

んっ…んっ…！
やめてくださいっ…！
声っでちやいますっ…！





ほら…
ギャラリーが
集まってきた…

みんなに
遥香さんのスケベな所
見せてあげな

はっ…
んっ…んっ!
そんな事っ…!

大丈夫
暗くて顔は
よくわからないから

ほら
早く!





はあっ...はあっ...
見てください...

私のエッチな所...

いっぱいいっぱい
見てくださいっ...!!

する

はっ…
うわエロっ…!!

グフフッ
ほらみんなに
見られてるよ
遥香さん

おっぱい
でけえっ…!!

今どんな
気持ちなの？

あっ…!
はっ…あっ…!
恥ずかしいですっ…

恥ずかしい
だけじゃ
ないでしょ？





あつ
恥ずかしいけど
見られてドキドキ
しますっ…

木本さんのっ…んっ
太いおちんちんで
突かれながらっ
感じてる所見られて
おまんこきゅんきゅん
しちゃいますっ



ヤッベッ...!
俺もう我慢
できねえッ...!!

ハアツ!ハアツ!
おちんちん
シコシコ
されちやつてる

シクシク

あゝ

めい

あゝ

いいえ

エツチな所見られて
せーしどぴゅどぴゅ
されちやうよおっ!

ハアツ
ハアツ...!!

シクシク



あっあうっあん♡
すごいっ…!

恥ずかしいのにつ
気持ちよくてっあんっ♡
頭おかしく
なっちゃうっ♡♡♡

ぐっ…!
すごい締めつけだっ…
出すぞ遥香っ…!!

だひてっ♡
おちんちん
じゅぽじゅぽして
えっちなせーしっぱい
だひてえっ♡♡♡



あっあっあっ!!
いっちやうっ♡

だめえっ♡
いっちやうっ♡♡♡

あ♡♡

お外で変態えっち
してる所みられながら
いっちやうよおおっ♡♡♡

あ♡♡

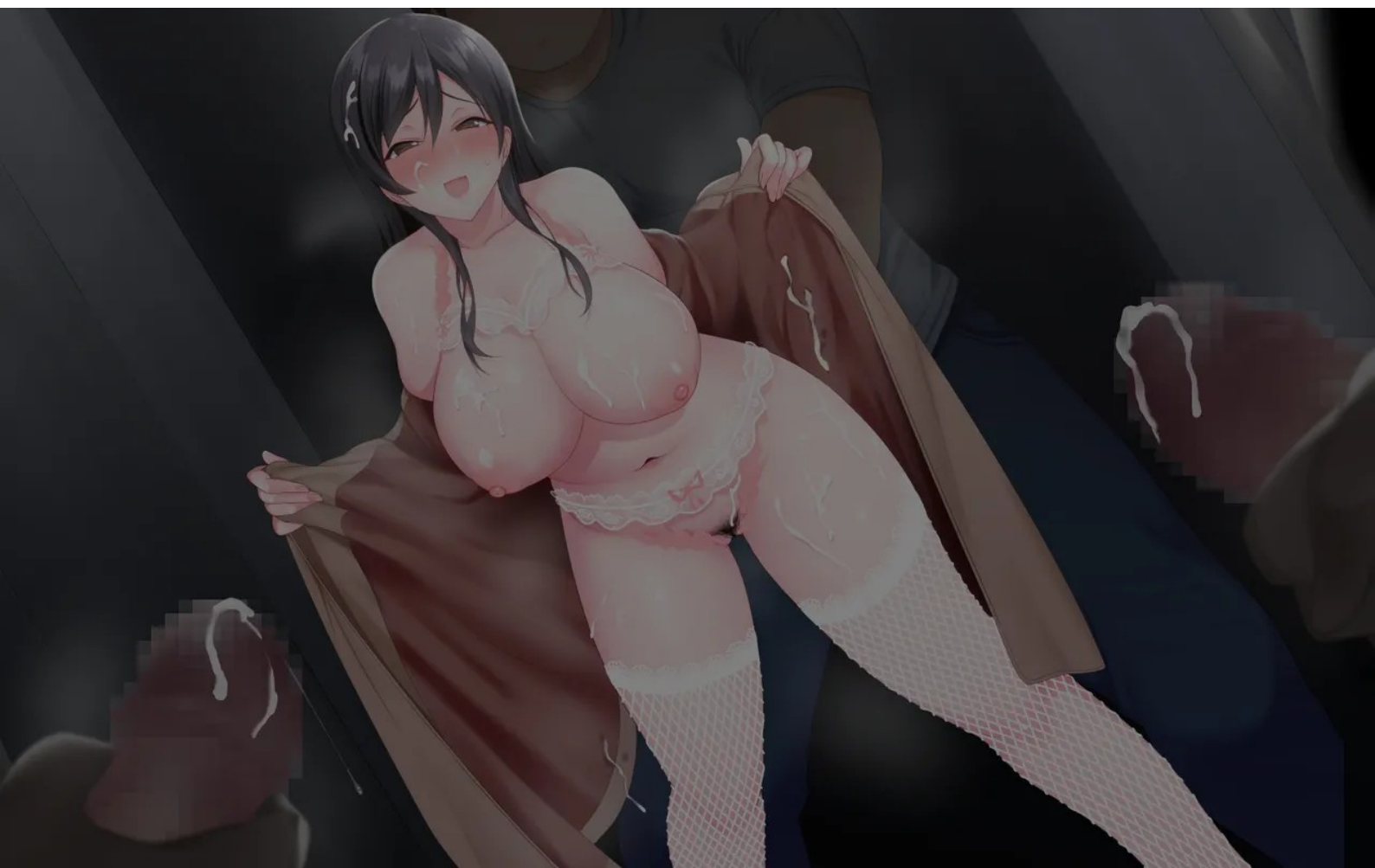


はあっ...はあっ...
えへへ...
せーし
かけられちゃった♡

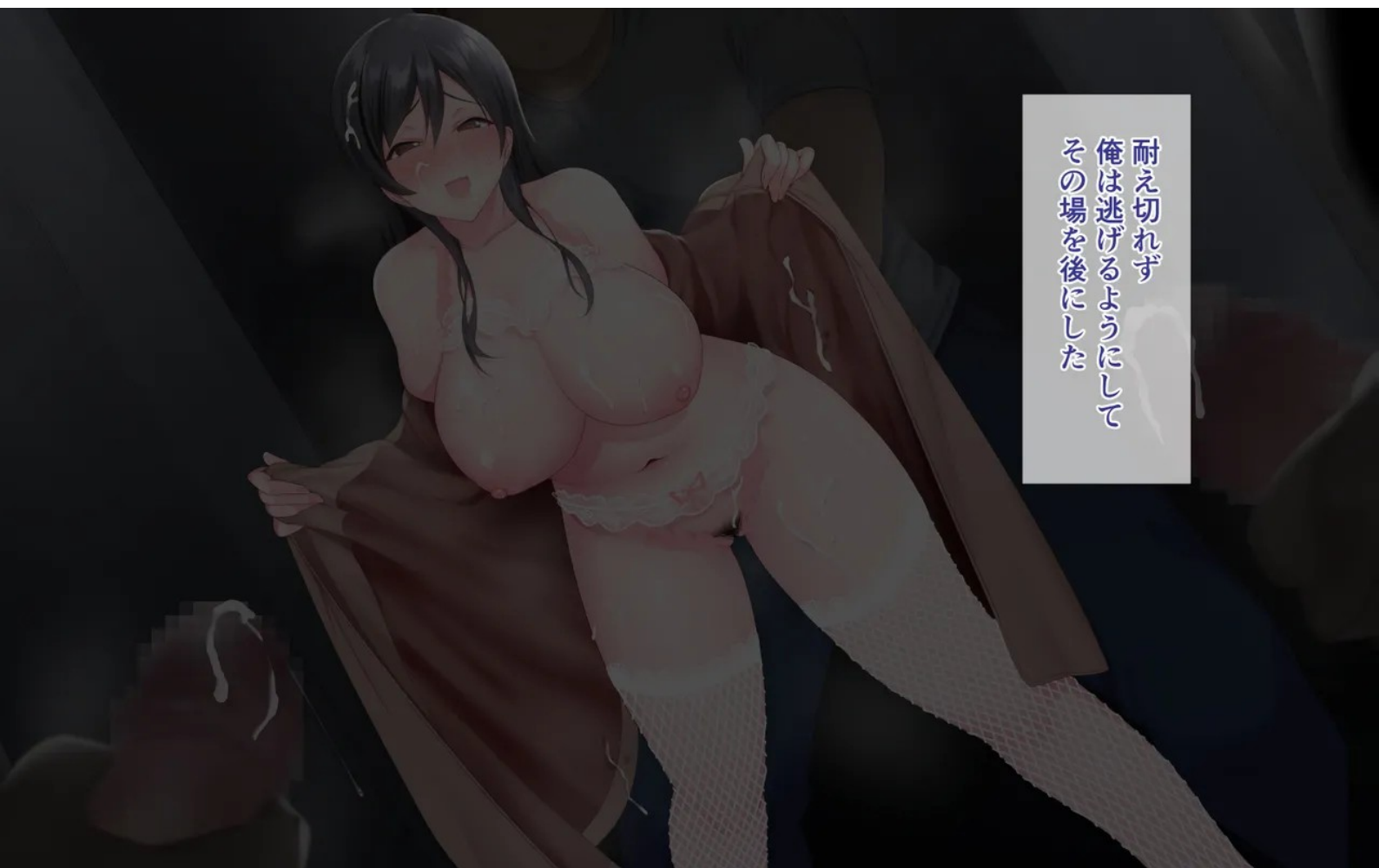
ぽ
っ
っ

私のエッチな身体で
いっぱいしこしこ
どぴゅどぴゅしてくれて
ありがとうございました♡





耐え切れず
俺は逃げるようにして
その場を後にした

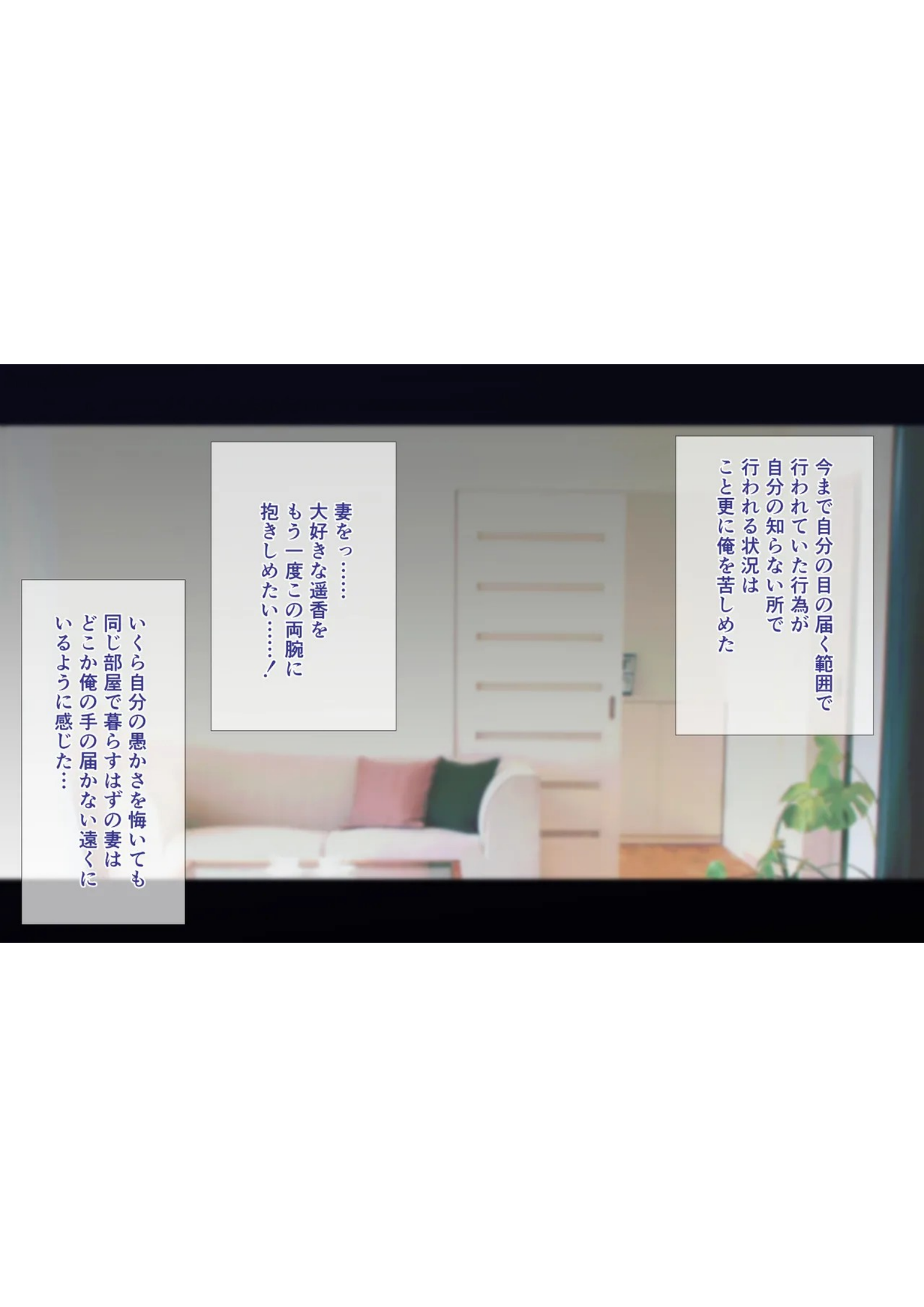


それから少しして
妻は木本の部屋へ
通うことをやめた

怪我も回復に向かい
もう妻が世話をする必要が
なくなったらしい

だがそれは恐らく
行為が無くなった事を
意味するのではない

俺が仕事で家を空ける
日中の間に関係を持っているため
わざわざ俺のいる間に
通う必要がなくなったのだ



今まで自分の目の届く範囲で
行われていた行為が
自分の知らない所で
行われる状況は
こと更に俺を苦しめた

妻をつ……
大好きな遥香を
もう一度この両腕に
抱きしめたい……！

いくら自分の愚かさを悔いても
同じ部屋で暮らすはずの妻は
どこか俺の手の届かない遠くに
いるように感じた……

もしかしたら
もう妻は木本と関係を
持っていないのかもしれない

遥香は優しくて健気で
俺の事を愛しているんだ

俺のいない間に
不貞行為に耽るなんて
するはずがない…

ハアツ…
遥香…
遥香…!!





俺はどうしても
それを確かめたくて
ある日ついに会社を休むと

出勤をするふりをした後に
こっそりと部屋へ戻り
寝室のクローゼットの中へ
身を潜めた……………

コキ...

コキ



コキ





チュッ♡

グフフっ
相変わらず遥香は
キスが好きだなあ

はぁ♡

チュッ

ちゅぽ

んっ♡

はぁっ♡はぁっ♡
木本さあん♡
レロっちゅぶっ♡

ちゅっ♡ちゅぶっ♡
んふう♡
れろっれるっ♡
ちゅぱちゅぱ♡

チュッ



ふふふっ
スケベな女だ…
そんなに必死に舌を絡めて
僕とのセックスが
そんなに待ちきれ
なかったのかい？

うん♡
きひゅ大好き♡
もっといっぱい
ちゅーひてえ♡

ハアツ♡ハアツ♡
ちゅっ♡ちゅっ♡
べろべろ♡♡♡

すっ
すっ

はい♡
待ちきれ
ませんでした♡

だから言われた通りに
おちんちん想像しながら
オナニーして…何回も
いっちゃいました…♡
はあっ…♡

はあ



K ああ♡

くくく…
よおしい子だ…
だけど一人で
何度もイクような
スケベな女には
お仕置が必要だなあ…

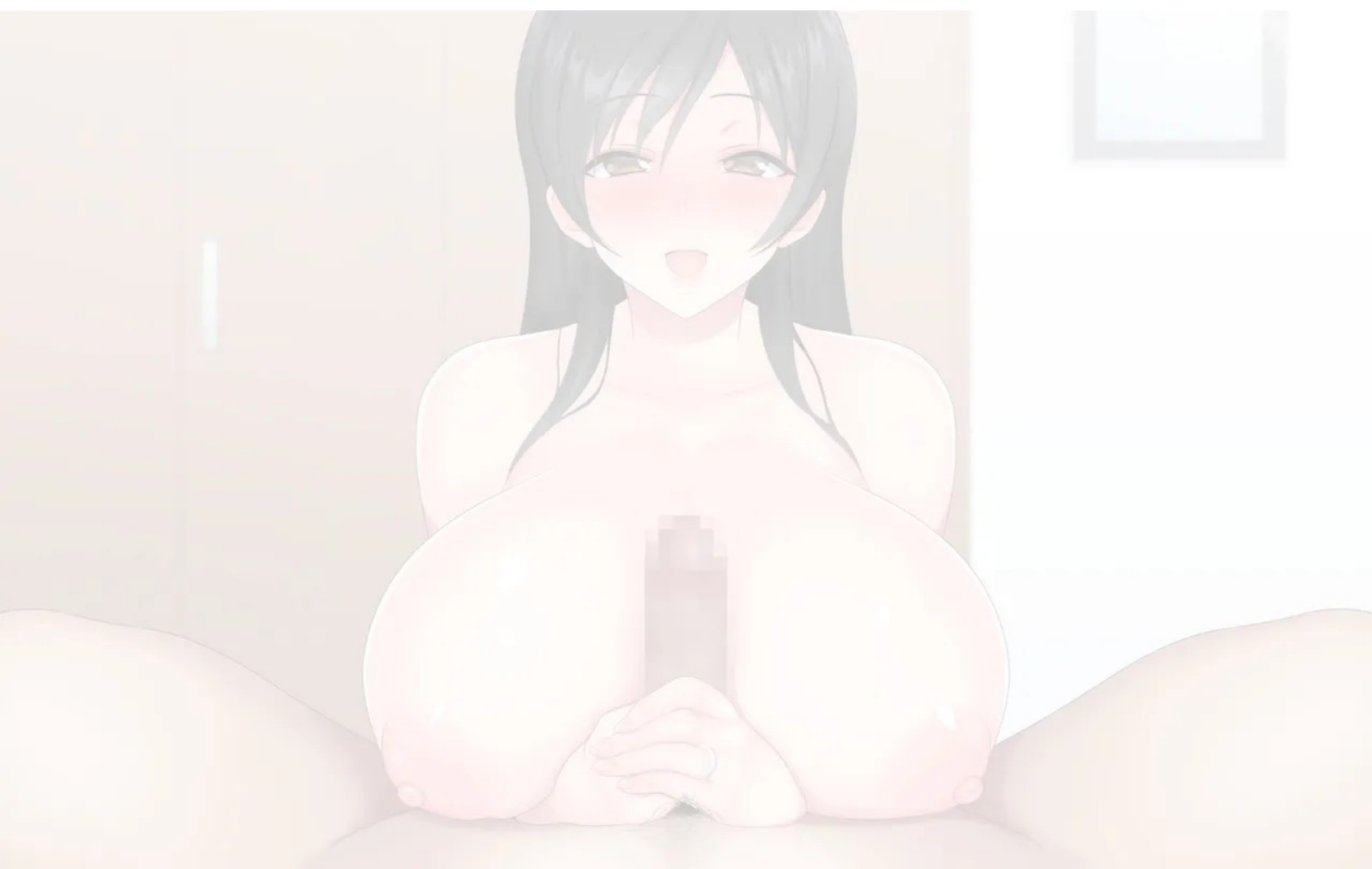
はううん…♡
お仕置き…してください…♡
スケベな悪い子にいっぱい
お仕置きしてください…♡♡♡



よおしそれじゃあまず
遥香の発情した
メスの身体を使って
ご主人様のチンポを
気持ちよくするんだ

はい…♡
遥香のえっちな身体で
いっぱい気持ちよくなっ
てください…♡

すり
すり



はあっはあっ…
えへへ
おちんちんもう
カチカチになってる♡

遥香とのべろちゅーで
いっぱい興奮して
こんなにおつきくて熱く
してくれましたか？

えへへ♡嬉しい♡
おつきくて硬い
おちんぽ大好きです♡





えい♡
はさんじやった♡

うふふ♡
おっぱい柔らかい
ですか？

すごおい♡
おちんちん熱くて
遥香のおっぱいの中で
びくんびくん
脈打ってる♡

む

にゅ♡

にゅ♡

にゅ♡

にゅ♡

んふええ…

うふふ♡ご主人様の
熱くて硬いおちんちん
私のエッチなおっぱいまんこで
いっぱいしこしこしますね♡

むにゅむにゅ
しこしこして
いっぱい
気持ち良くなって

たまたまの中の
こつてりザーメン
私のおっぱいの中に
いっぱいどぴゅどぴゅ
してください♡





♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

はあっ♡
はあっ♡

たぶろ♡

たぶろ♡

ぐああっ………!!

たぶろ♡

ショクショク!!

んっ…
すごい…♡
おちんちん
びくびくしてる♡

おっぱいのナカ
気持ちいいですか？

ぐっ…あぁっ
気持ちいいぞっ…！

モチモチの乳肉が
搾り取るみたいに圧迫して
吸いついてくるっ…
なんてスケベな乳
してやがるんだッ…！！





はあっはあっ
嬉しい♡

それじゃあ
もつと激しく
おっぱいでよろこ
びますね♡

私のえっちなおっぱいで
もつといっぱいいっぱい
気持ちよくなつて
ください♡

たぶ

たぶ♡

たぶ♡

たぶ♡

たぶ♡

たぶ

たぶ

たぶ♡

たぶ♡



あぁっ気持ちいいよっ
すごい乳圧だっ...!!
チンポ搾り取られるッ...!!

あん♡凄い♡
おちんぼどん
硬くなってきた♡

ハアツハアツ...
どうですか?
私のパイズリ♡

気持ちいい
ですか?

んっ♡
んっ♡

ハアツハアツ♡
うふ♡おっぱいのナカ
よだれでぬるぬるになつて
くちゅくちゅ言ってる♡

うぐっ……!!
気持ちいいっ……!
トロ肉乳まんこっ……
たまんねえっ……!!

はあ♡はあ♡
凄い気持ちよさそうな
顔になってる♡

もっと気持ちよくな
ってください♡
私のおっぱいで
気持ちよくなってる顔
もっとみせてください♡



ぐっ…だめだっ
遥香もうッッ…!!

いつちやいそうですか？
いいですよ♥
いっぱい
出してください♥

おちんぼ気持ち良くなって
たまたまの中のどろどろ精液
私のおっぱいのナカに
いっぱいナカ出し
してください♥

びゆるびゆるって
ザーメン射精するところ
いっぱい見せて
ください♥♥♥





ぐっ……イクぞツツ!!

イクツイクツ……!!

イクうツツツ!!!







はあぁ.....♥♥♥

はあっ
はあっ
♥♥



こんなに出来たら
おっぱい妊娠
しちゃいます...♡♡

熱くて濃い
ぶるぶるザーメン
いっぱいナカ出し
されちゃった...♡

はぁ...♡

はぁ...♡

はぁ
はぁ♡

く

く♡



んっ…はあっはあっ
すごい…
今出したばかりなのに
おちんちんもうカチカチ…♡

おまんここすり付けるたびに
ドクンドクンって
熱いのが伝わってきて…

はうん…木本さん…
私もう…♡



ぐひひ…
ぐちょぐよに濡らしたまんこ
そんなに必死にこすりつけて

入れてほしいのか
遥香？

ちゅ

ちゅ

ひゃいつ…
入れてほしい
でしゅっ…

ずっと欲しかった
木本さんのおちんちんで
おまんこいっぱい
ズポズポしてほしいでしゅ

ゴムは着けなくて
いいのか？

はい……♡
ナマで……シて
くだしい……♡

ちゅ♡

ちゅ♡

木本さんの
おちんちん直接
おまんこで感じさせて
くだひゃい……♡

出す時だけ……
外で出せば大丈夫
ですから……♡



くくく…
それじゃあたっぷり
犯してやろう…





ぐっ…ノまんこの中
ドロドロのぐちょぐよに
なってやがるっ……!!

パイズリとキスだけで
膣の中こんなにエロい
メス豚性器にしゃがってッ…

ほらッ自分で腰振って
ヨガってみろッ!!

はっはっ…♡

チッ♡

チッ♡

チッ♡

チッ♡





んっ♡
おっ♡
オッ♡

しゅごいッ……!!
ナマちんぽしゅごいよおッ♡♡♡♡

おっきつ…
おっきひッおちんちんっ
奥まできてるのお♡♡♡♡

おっきひッ

おっきひッ♡

おっ♡



うわーッ♥

おちんぽッ♥

おちんぽおッ.....♥♥♥

.....

アイッ アイッ♥

アイッ♥



くくくく……
どんなに
調教しても…

やっぱり遥香は
女の子だなあ……

ふえっ……？

甘い甘さ……







オッ♥

おッ♥

アッ♥♥

ダメッ……!!
ダメでしゅッ!!

イェー

イェー

イェー!

イェー!

しょんなに突いたらッ

おかしくなっちゃいましゅッ……!!

アッ!!しゅごいッ!!!
おちんぽ奥までごっごっ
届いてりゅうッッ♥♥♥



ガチガチ
おチンポで
子宮口ぐりぐりされて
意識とんじやい
ましゅッ♥♥♥

おまんこッ...!
おまんこ
イツちやいましゅッ
♥♥♥♥♥

いつちやいましゅっ♥♥♥

アツッ♥♥♥
アツッ♥♥♥

らめっ♥♥♥
らめえッ♥♥♥

パッパッ

アッ! アッ!

アッ! アッ!

それじゃあ子宮にたっぷり
精液そいでやるッ!!

ちゃんと
受け止めるんだぞ
遥香ッッ!!

ああッ!
らめッ!!
外につ!!

しよとに
らひてくだしやいッ

いん

いん

アッ♥りやめッ♥
イクッ♥♥♥♥♥
いっちやう♥♥♥♥♥

イキましゅっ!!♥
イキましゅっ!!♥

イクうううッッ♥♥♥♥♥

いん





あはああッ.....♥

あッ

おッ

ッッッ...

ッッッ...

ッッッ...

ッッッ...

ッッッ...

ッッッ...





ククク…まだまだ
こんなもんじゃあないぞ…

今日はとことん
可愛がってやるからな



ンプッ♡らめえッ…♡
私これ以上シたら
おかしくなっちゃうよオ…♡
んぶっ！ジュルルッ！！
ジュプッ♡ジュボッ♡♡

ッ…：そう言いながら
物欲しそうに
しゃぶりつきやがって…

ほらッ股を開くんだッ
望み通りチンポぶち込んでやるッ！！

あんッ♡
らめえッ♡
本当に…あッ

あああッ…♡



ああんツツツ♥♥♥



おッ！

おッ！

おちんぽっ ♥

おちんぽ
しゅごいッッ ♥ ♥ ♥

ブルン

ブルン

しゃっきより
がちがちでッ ♥
奥までッ ♥ ♥ ♥

奥まで
きてるの ♥ ♥ ♥ ♥ ♥

ぐっ…何回入れても
スケベな淫乱まんこだッ!!

膣肉がギュウギュウ締まって
ドロッドロにチンポ
啜え込んできやがるッ…!!

このデカイ乳もまんこも
男を欲情させて
チンポぶち込んで
もらうためだけに
こんなにスケベに
成長させやがってッ…

この淫乱な
メス豚女がッ…!!





あッ♥あッ♥
ごめんなしゃいッ

男の人を興奮させる
えっちなメス豚で
ごめんなひやいいッ

アッ♥アッ♥
感じちゃうのっ♥
結婚してるのにイ

ガチガチおちんぽで
ズポズポされて
おまんこきゅんきゅん
しちゃうのおおッ♥♥♥

シッ
アッ

ガッ
アッ

ガッ
アッ

ガッ
アッ

グフフツ!!
旦那のチンポとどっちが
気持ちいいんだ?
言ってみろッ!

こっちのおちんぽオツ
このおちんぽが
気持ちいいのオ♥

おまんこズボズボ
犯されりゅ度
頭まつしりよになつて
何にも考えられなく
なつちやうのおツ♥♥♥





可愛いなあ遙香は!!
すっかり僕のチンポ
無しじゃられない
淫乱なメス豚に
調教されて!!

ほらッ旦那に
謝らないと!

旦那が会社で働いてる間に
浮気チンポでよがり狂って
ごめんなさいって!!



あッ♡
あッ♡

あッ♡

ごめんなひやいッ

結婚してるのにっ
二人のベットで
浮気セックスして
ごめんなしやいっ!!

夫以外のチンポで
気持ちよくなつて
ごめっ…アッッ♡
そこ!!♡

アッ♡
しゅわっ♡♡♡

おちんぽ♡

おちんぽ
気持ちいいよおッッ
♡♡♡♡♡

ぐッ…一段と
まんこキツくなり
やがったッ…!

必死にチンポ
咥え込みやがって
生チンポそんなに
好きなのか?

しゅきつ♥
しゅきなのお♥

太くて硬くて逞しい
ガチガチおちんぼ
大しゅきなのおッ♥♥

△このおちんぼじゃなきや
りやめなのおッ♥♥♥♥



ぐっ…そろそろ
いきそうだっ…!!

ほらッ!!
どこに射精して
ほしいんだッ?

あッ♥あッ♥
しよとにつ…
しよとに出ひて
くだしやいつ…!!

外でいいのか??
遥香は変態人妻
肉便器だよなあッ!?

ほらッ!
本当はどこに欲しいのか
もう一度言ってみろッ!!





おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

ナカにツツ!!

ナカに出して
くださいッ
♡♡♡♡

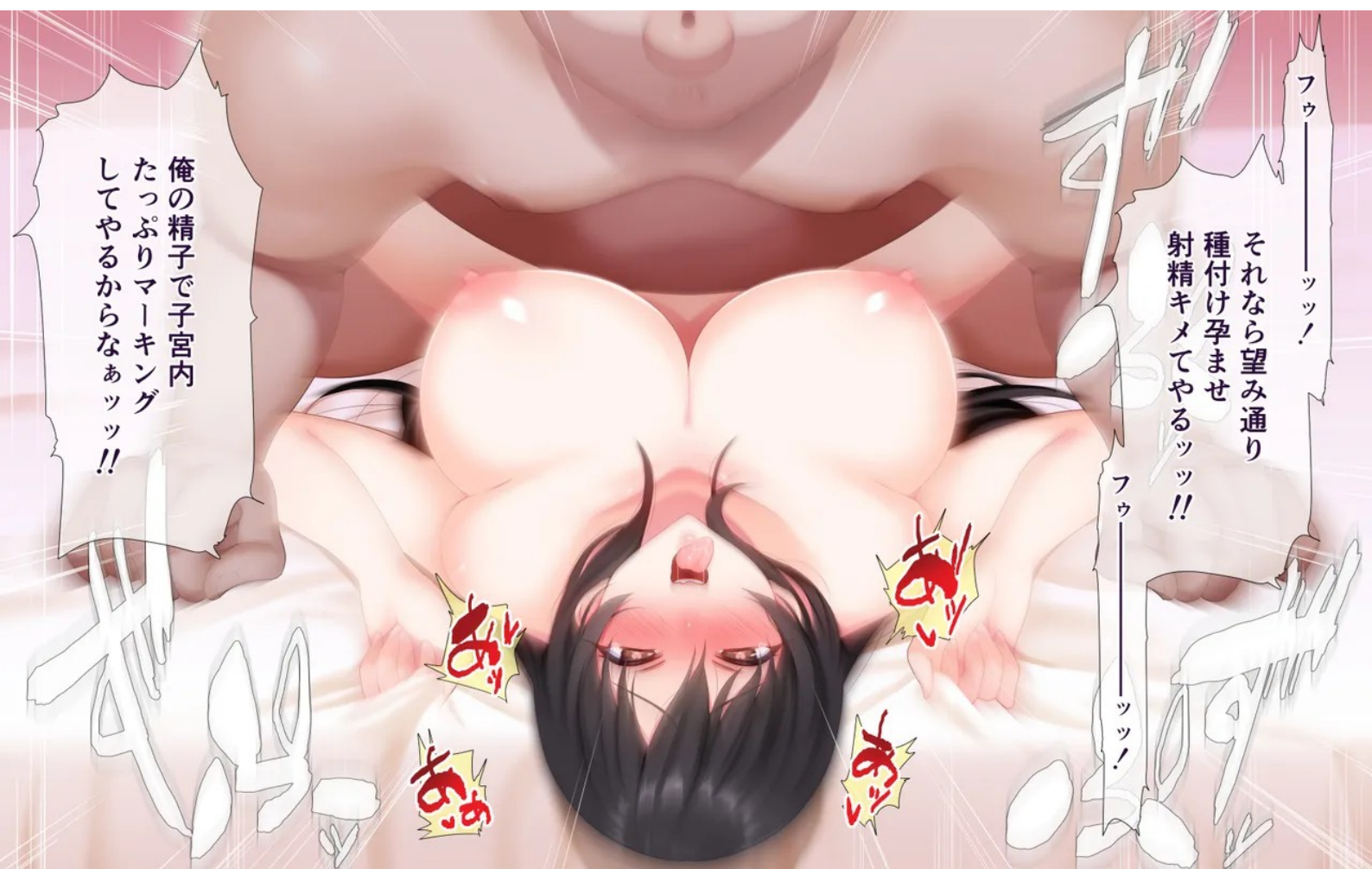
おまんこのナカに
射精して
くださいッ
♡♡♡♡

おっ
おっ
おっ

おちんぼミルク子宮の奥に
いっぱい射精してくださいっ！！

いけないメス豚まんこの中で
いっぱい射精して
どろどろに濃いザーめん
いっぱい種付けしてくださいっ！！





フウ

ツツ!

それなら望み通り
種付け孕ませ
射精キメてやるツツ!!

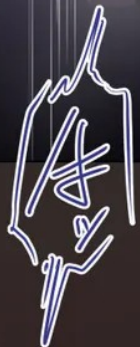
フウ

ツツ!

俺の精子で子宮内
たっぷりマーキング
してやるからなツツ!!

やめろッ…!!
やめてくれッ…!!

遥香は俺のッ…
俺のッ…!

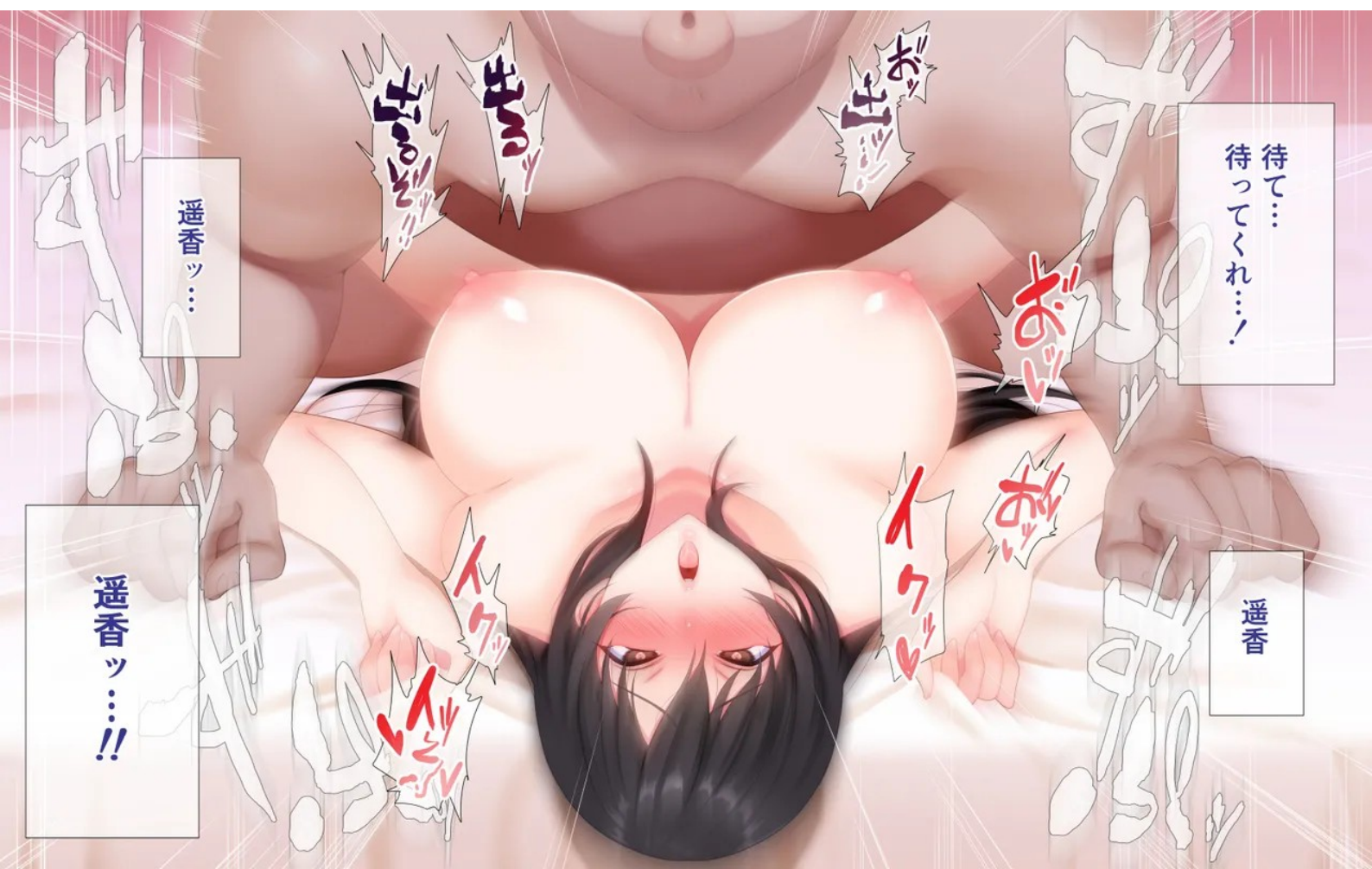




愛する妻の
心も体も奪われ
快楽により乱れる
見た事のない
妻の姿を目の前にして

俺はただ悲しい程に
膨張した自分のものを
惨めに慰める事しか
できなかった

だが何度射精しようと
胸を締め付ける
この苦しみが
晴れる事などなかった

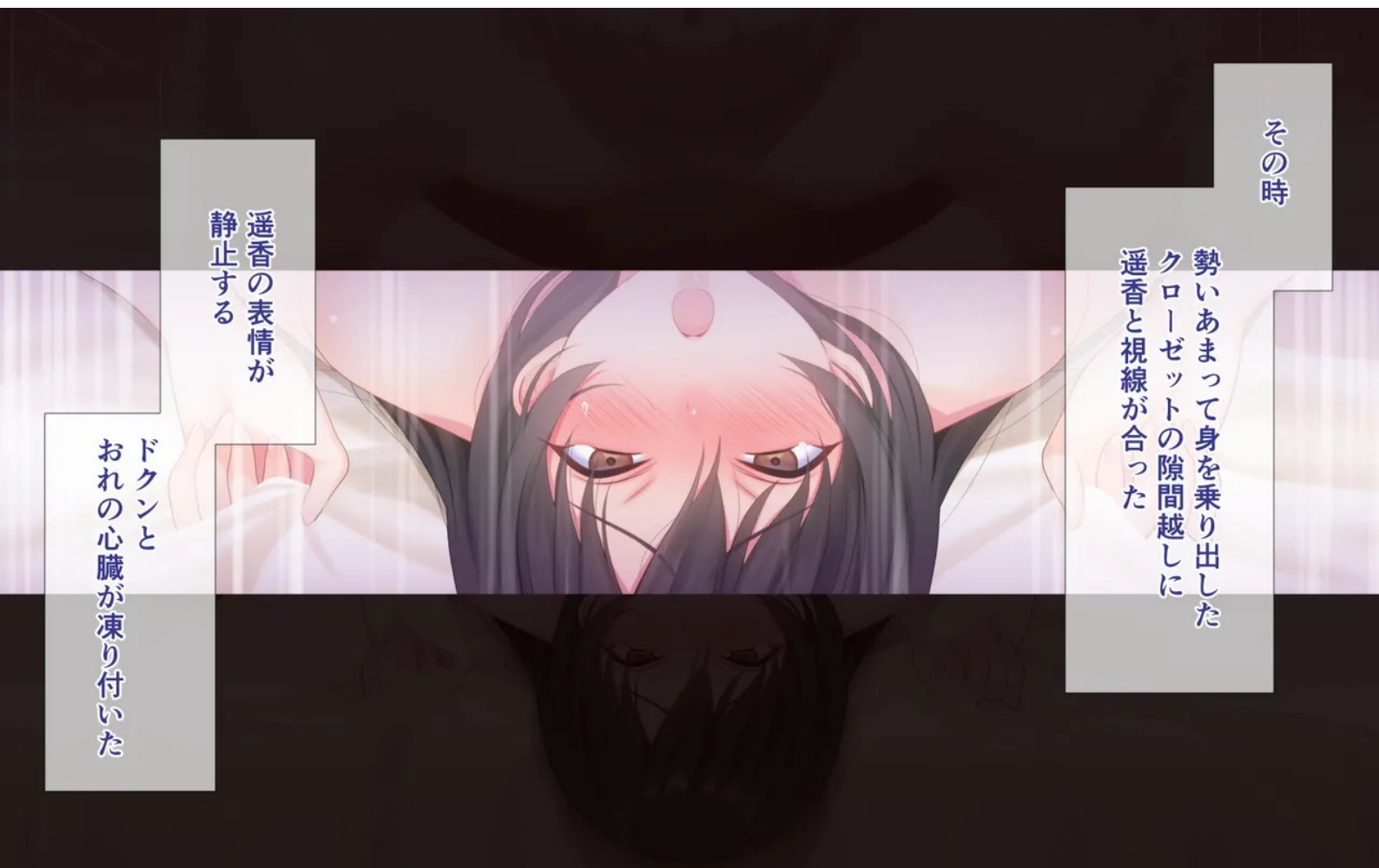


その時

勢いあまって身を乗り出した
クローゼットの隙間越しに
遥香と視線が合った

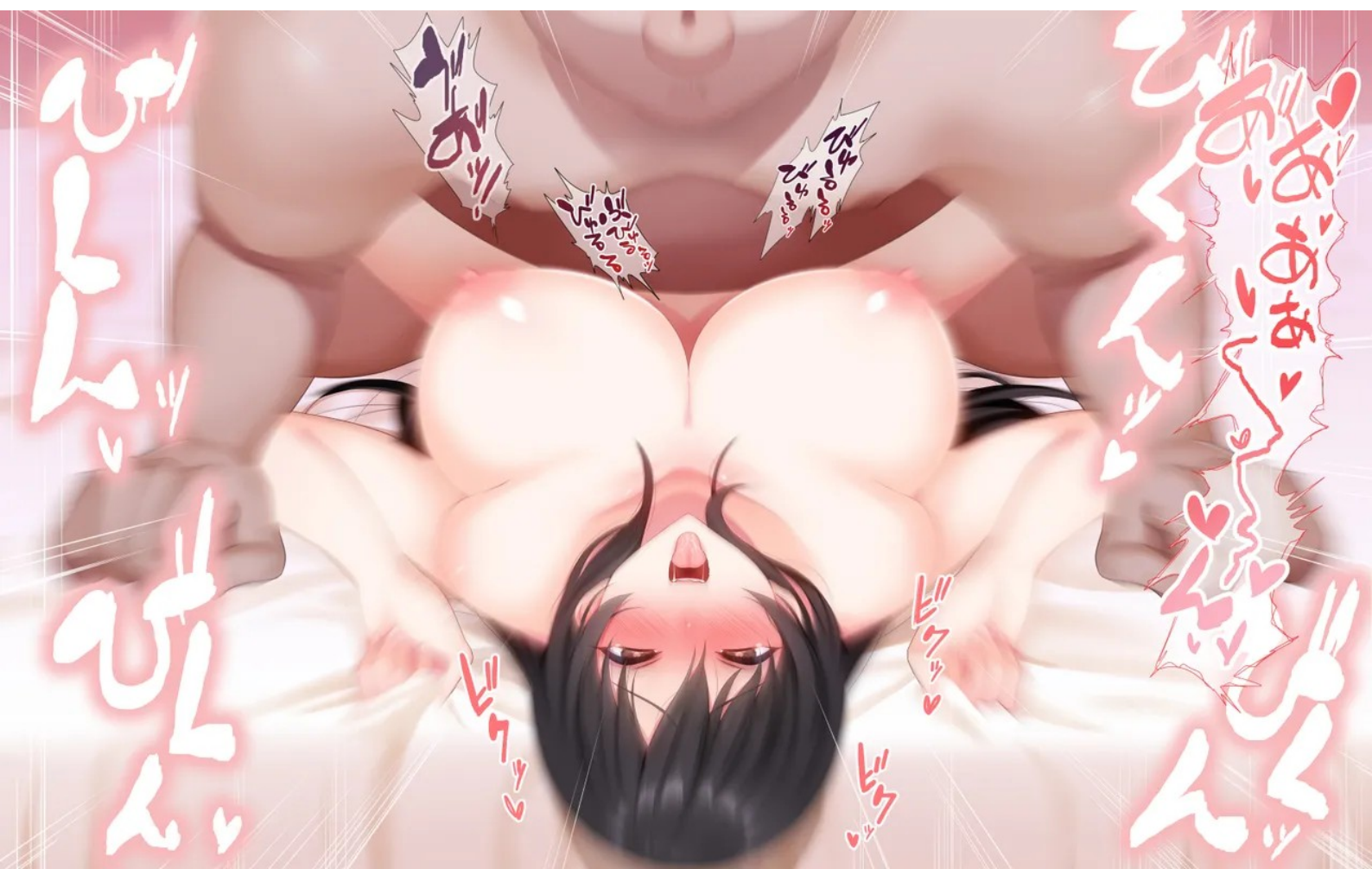
遥香の表情が
静止する

ドクンと
おれの心臓が凍り付いた



『にこり』と
遥香は俺に微笑んだ









ハアッ...

ハアッ...

ハアッ...





げひひひ…
たっぷり中出し
決めちまったぜ…

中出しセックスの征服感
半端ねえな…

俺の存在に気付いても尚
行為を続け
膣内への射精を
受け入れる妻を眼前にして

俺は胸を抉られるような
敗北感と悲しみの中
同時に絶頂を迎えていた

もう俺に二人を
止める事など
出来ないだろう

こんな俺に何が
出来ると言うのだ…
顔中涙で濡らし
下半身を露わにした
惨めなこの俺に…

俺はどうしようもなく
弱くて情けない人間だ

これはそんな
俺の弱さが招いた
当然の報いだろう

くくく…
遥香お前はもう
僕の女だ

これからも
僕専用の肉便器として
一生大切に
あげるからね…♡

ん…？
なんだ？いつまで
結婚指輪なんか
着けてるんだ？

外しておけって
再三言っただろう

ほら！
貸してみろ！

あつ…

俺に二人を
止める資格など
ありはしない

あるはずがない

それでも…
それでもッ……………

なりふり構わず
飛び出して
止めに入りたかった

それでも

あつ…



妻が妻でなくなる
最後の瞬間まで
俺はただそれを見
ている事しか
出来なかった…

ガッ
ン

ちくしょおおおおッ!!

うわああああ!!



俺は半ばやけくそに
部屋へと飛び出していた

だがそこに
愛する妻を間男から奪い返そうなどという
高尚な思いは無く

あるのは身勝手に惨めな嫉妬心だけであった

うわっ何だお前!!
どこから出てきやがった!!

……ッ!!
なんでズボンを
履いていないんだッ!?

黙れえええッ
お前こそ服を着ていないだろうッッ
ここは俺の部屋だぞッッ

何でッ:
何でお前なんか
俺の遥香をおおッ!!

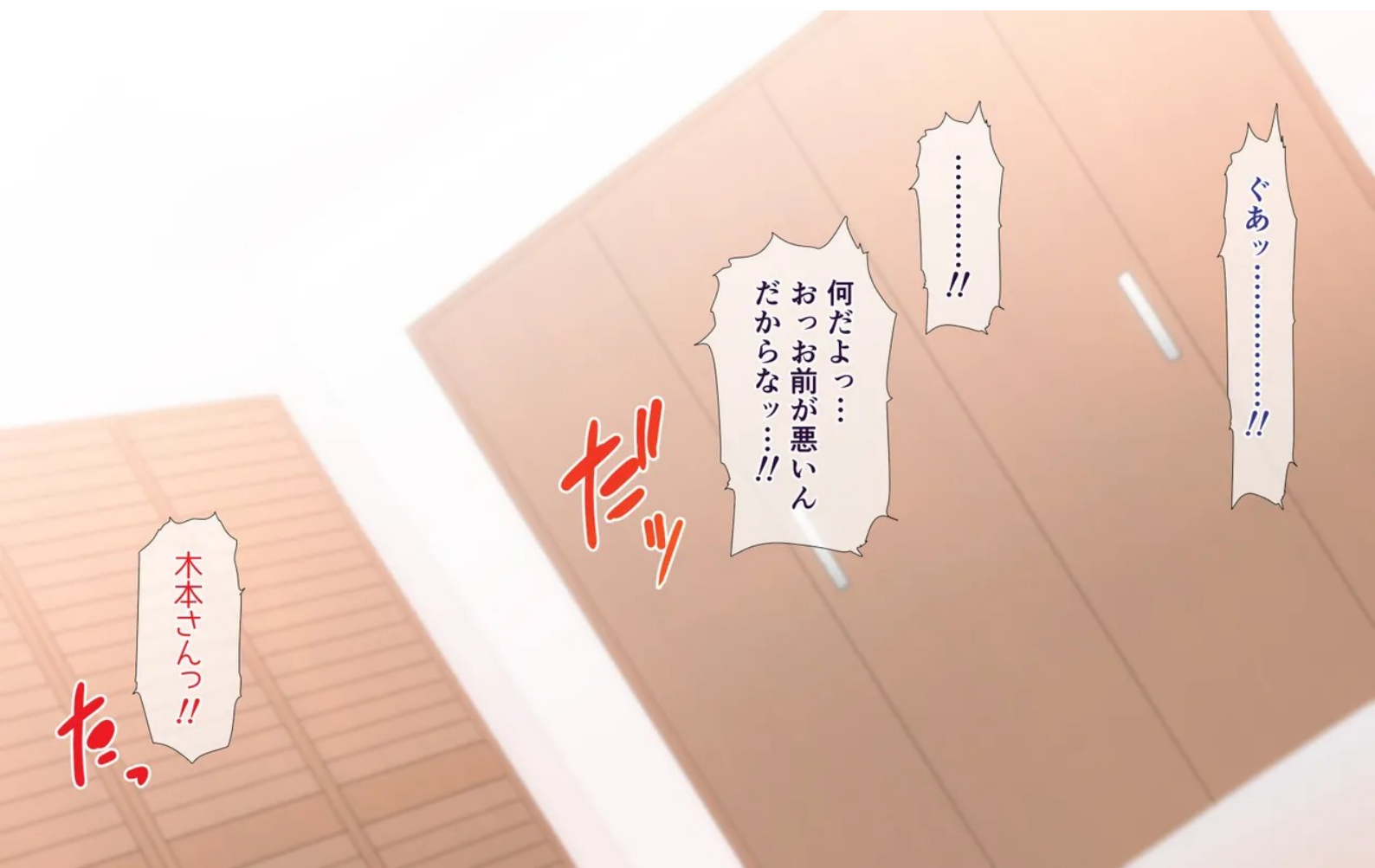
ぐっっ 離せ
この変態野郎ッ……

ちくしょおおッ!!
お前なんかッ…
お前なんかああッ!!

離せって
言っているだろうッ!!

ドカッ

ホッ
キヤッ!!



ぐあッ……………!!

……………!!

何だよっ…
おっお前が悪いん
だからなッ…!!

だッ

木本さんっ!!

たっ

床にうずくまる俺を置いて
木本の後を追い
妻は部屋を出て行った

ふと
彼女が立ち止まって
こちらを一瞥するのを感じた

何かにすがるように顔を上げたが
そこにはすでに遥香の姿は無かった

そのまま
妻が俺の元に戻る事はなかった





ハアッ...!!
木本さんっ...
もつと...♡

もつと
激しくッ...♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡



くくく
だめだろ遥香

お腹の子の
ためにも
優しくしないと

ふふふ...
そうね
あなた...❤

こんな
お腹になっても
毎日求めて

本当に遥香は
スケベな女に
なったなあ

あら
そんな風にしたのは
どこのだあれ？

ワス
ワス





ハアッ
ハアッ

アツ♥アツ♥
木本さんツそこっ♥
気持ちいいっ♥

遥香ッ
お前は永遠に
僕のものだッ…!!

愛してるぞ
遥香ッ…!!

アツ♥あんツ♥
私もですッ…!!

愛してます
木本さん…

END【B】

寝取られ介護

B

エンディング

